

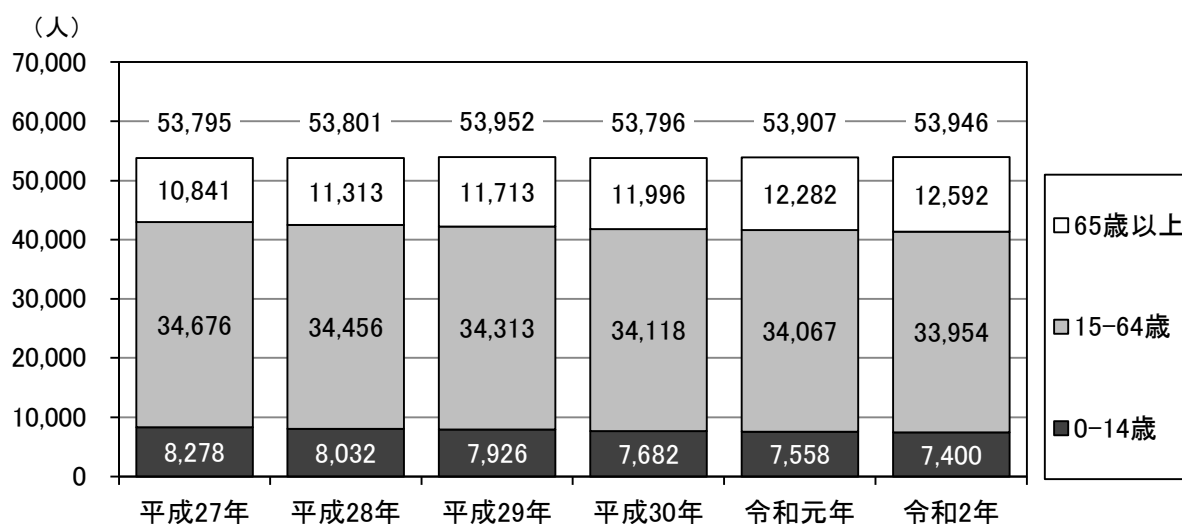
# 第2章 高齢者を取り巻く状況

## 1. 人口構成と高齢化の状況

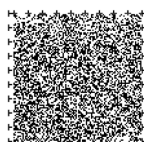
### (1) 人口及び高齢化率等の推移

総人口は平成27年の53,795人から令和2年の53,946人までおおむね増加傾向で推移しています。年齢3区分別では、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口は減少傾向で推移しています。65歳以上の高齢者は増加傾向にあり、平成27年から令和2年にかけて1,751人増加しています。

【年齢3区分別人口の推移】

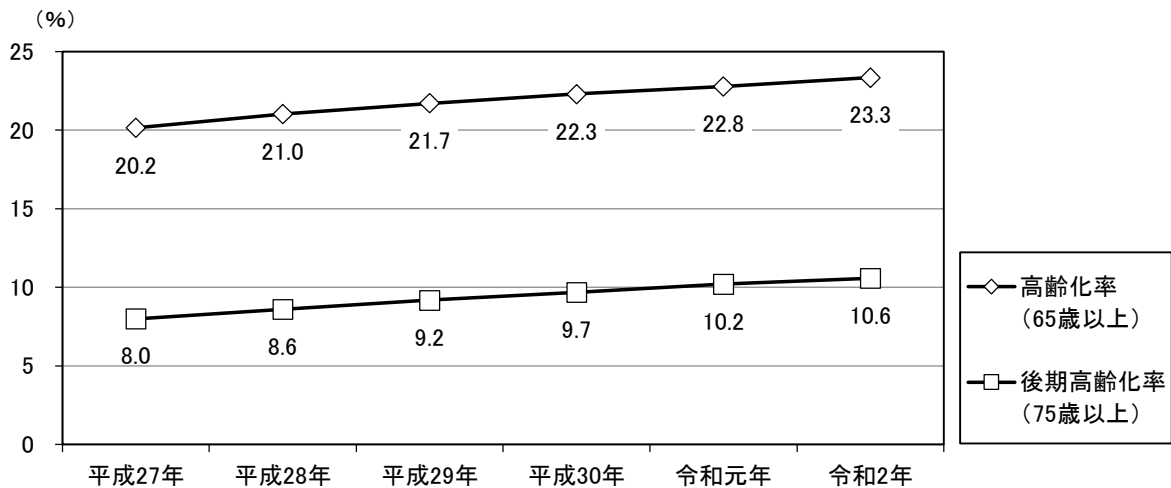


資料：住民基本台帳（各年9月末時点）



65歳以上の高齢化率、75歳以上の後期高齢化率ともに年々上昇傾向で推移しています。65歳以上の高齢化率については令和2年で23.3%で、平成27年と比較すると3.1ポイント増加しています。後期高齢化率については令和2年で10.6%で、平成27年と比較すると2.6ポイント増加しています。

【高齢化率（65歳以上人口比率）と後期高齢化率（75歳以上人口比率）の推移】



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

第1号被保険者数について、第7期介護保険事業計画における計画値と比較すると、平成30年度から令和2年度にかけて、どの年度も実績値が計画値を下回っています。

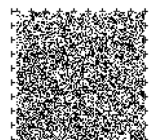
【第7期計画における第1号被保険者数の計画値と実績値（人）】

	平成30年	令和元年	令和2年
計画値(A)	12,083	12,362	12,634
実績値(B)	11,941	12,236	12,525
計画値との差異(B - A)	-142	-126	-109
計画比(B / A)	98.8%	99.0%	99.1%

実績値は各年9月末時点

65歳以上の高齢者数と第1号被保険者数は、住所地特例等の関係から必ずしも一致しない

資料：介護保険事業状況報告（各年9月末時点）



## 2. 高齢者のいる世帯の状況

総世帯数は平成27年で20,744世帯であり、増加傾向で推移しています。高齢者単身世帯は、平成7年の357世帯(2.8%)から、平成27年には1,853世帯(8.9%)に大きく増加しています。同様に、高齢者夫婦のみ世帯も、平成7年の578世帯(4.5%)から平成27年には2,278世帯(11.0%)へ大きく増加しています。

【高齢者のいる世帯の状況(世帯)】

	岩出市					和歌山県	全国
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27年	平成27年
総世帯(A)	12,973	16,178	17,771	19,529	20,744	391,465	53,331,797
高齢者単身世帯(B)	357	564	872	1,229	1,853	58,706	5,927,686
比率(B/A)	2.8%	3.5%	4.9%	6.3%	8.9%	15.0%	11.1%
高齢者夫婦のみ世帯(C)	578	837	1,248	1,737	2,278	56,714	6,079,126
比率(C/A)	4.5%	5.2%	7.0%	8.9%	11.0%	14.5%	11.4%

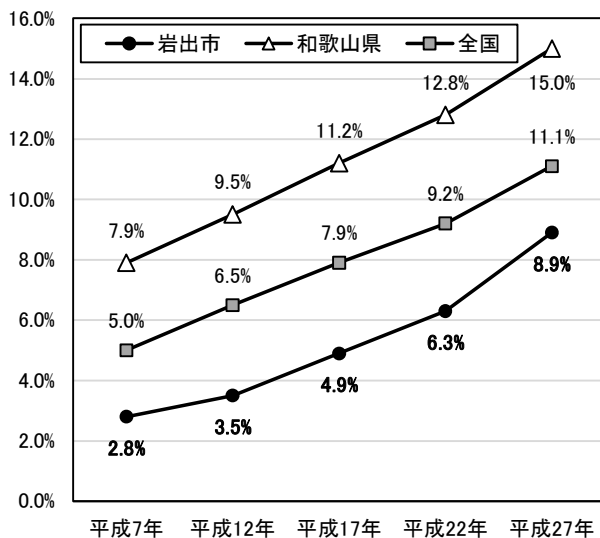
資料：国勢調査(各年10月1日時点)

高齢者夫婦のみ世帯は夫が65歳以上・妻は60歳以上

総世帯に占める高齢者単身世帯比率については、上昇傾向にあるものの、和歌山県及び全国を下回って推移しており、平成27年で全国を2.2ポイント、和歌山県を6.1ポイント下回っています。

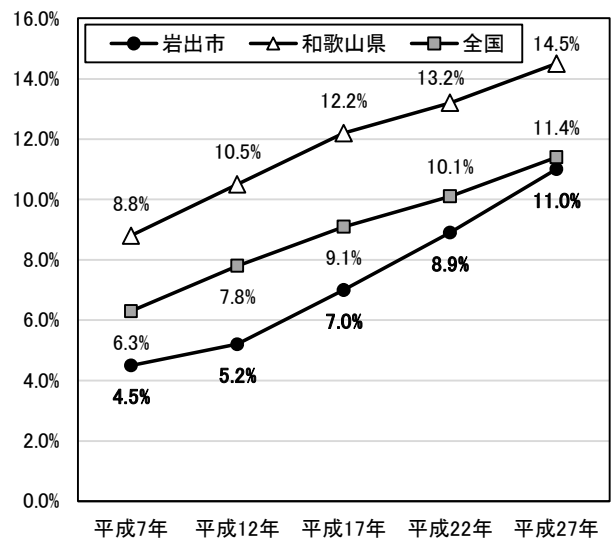
また、総世帯に占める高齢者夫婦のみ世帯比率については、和歌山県及び全国を下回って推移しているものの、その差は縮まってきており、平成27年では、全国をわずかに下回る程度となっています。

【総世帯に占める高齢者単身世帯比率の推移】

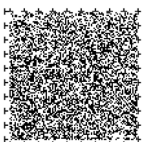


資料：国勢調査(各年10月1日時点)

【総世帯に占める高齢者夫婦のみ世帯比率の推移】



資料：国勢調査(各年10月1日時点)



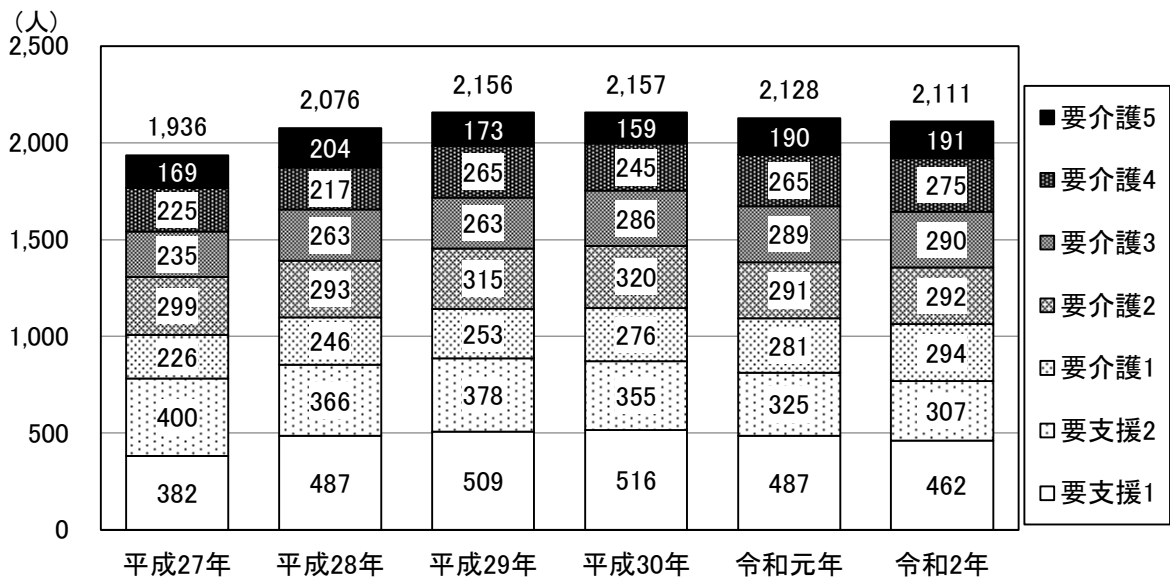
### 3. 要支援・要介護認定者の状況

#### (1) 要支援・要介護認定者数の推移及び計画値と実績値との比較

要支援・要介護認定者数（第2号含む）は、令和2年では2,111人となり平成27年から175人（約1.1倍）増加していますが、平成30年から令和2年にかけて減少しています。

また、要支援・要介護度別で認定者数の推移をみると、介護度1・3・4・5は第7期中（平成30年から）では増加しています。要支援1・2においては平成30年から減少傾向にあります。

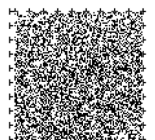
【要支援・要介護認定者数の推移】



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末時点）

総数の実績値では、平成30年から令和2年にかけて実績値が計画値を下回っています。

要支援・要介護認定者数について、平成30年から令和2年における実績値と計画値を比較すると、要介護1及び要介護3の実績値が平成30年から令和2年にかけてどの年も計画値を上回っていますが、要介護5を除く他はすべて実績値が計画値を下回っています。特に要支援認定者は、実績値が計画値を大きく下回っています。



【第7期計画における要支援・要介護認定者数の計画値と実績値（人）】

	平成30年			令和元年			令和2年		
	計画値 (A)	実績値 (B)	計画比 (B/A)	計画値 (A)	実績値 (B)	計画比 (B/A)	計画値 (A)	実績値 (B)	計画比 (B/A)
要支援1	523	516	98.7%	546	487	89.2%	558	462	82.8%
要支援2	395	355	89.9%	416	325	78.1%	431	307	71.2%
要介護1	264	276	104.5%	278	281	101.1%	289	294	101.7%
要介護2	323	320	99.1%	337	291	86.4%	346	292	84.4%
要介護3	271	286	105.5%	282	289	102.5%	289	290	100.3%
要介護4	281	245	87.2%	296	265	89.5%	307	275	89.6%
要介護5	180	159	88.3%	187	190	101.6%	191	191	100.0%
総数	2,237	2,157	96.4%	2,342	2,128	90.9%	2,411	2,111	87.6%

実績値は各年9月末時点

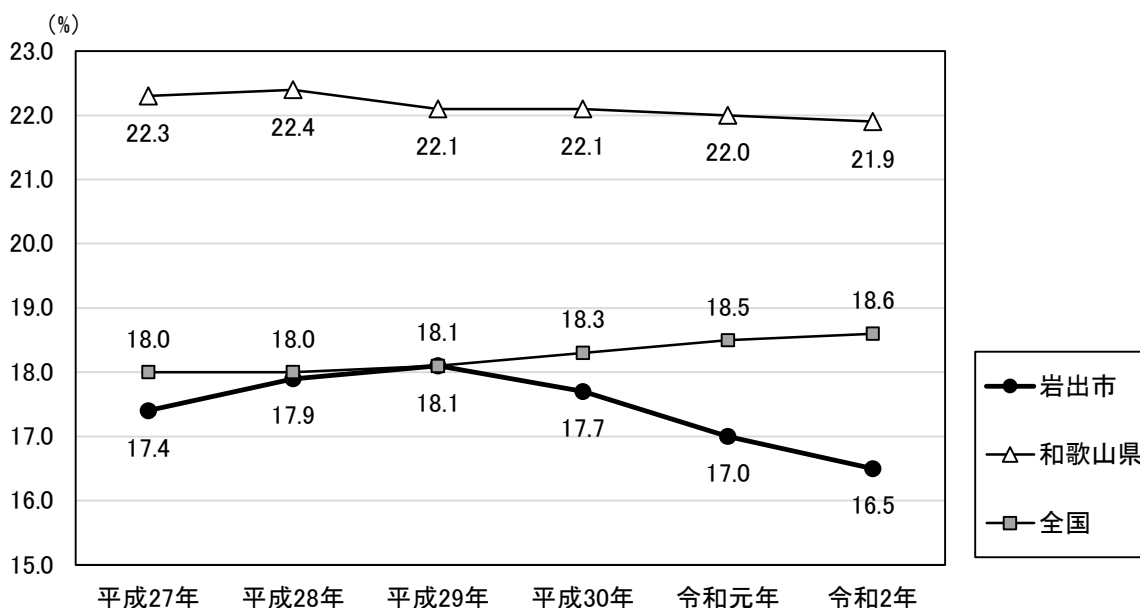
資料：介護保険事業状況報告（各年9月末時点）

## （2）認定率の推移

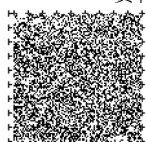
要支援・要介護認定率は、平成29年までは増加傾向にありましたが、平成29年から平成30年にかけて減少に転じ、令和2年では16.5%となっています。

和歌山県・全国と要支援・要介護認定率を比較すると、平成29年までは和歌山県からは大きく下回り、全国とは大きな差がない状況であったものが、平成30年からは本市の認定率の減少傾向により和歌山県・全国との差が広がっています。

【要支援・要介護認定率の推移】



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末時点、第1号被保険者のみ）



## 4. 介護保険サービスの利用状況

### (1) 居宅介護サービスの計画値と利用実績の状況との比較

多くのサービスで実績値が、平成30年度から令和2年度にかけて増加傾向で推移しています。特に、訪問入浴介護が1.4倍増加しています。一方、通所リハビリテーションは実績値が唯一減少したサービスとなっています。

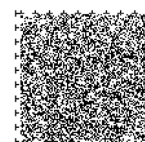
また、利用実績と計画値を比較すると、訪問リハビリテーションは利用実績が計画値を大きく上回っていますが、訪問入浴介護、福祉用具購入費では、利用実績が計画値を大きく下回っています。

#### 【居宅介護サービスの計画値と利用実績（第7期）】

(単位：千円)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度(見込)		
	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A
訪問介護	500,329	492,501	98.4%	536,560	540,424	100.7%	581,920	642,729	110.4%
訪問入浴介護	15,655	9,915	63.3%	17,484	10,671	61.0%	20,922	13,909	66.5%
訪問看護	65,194	65,859	101.0%	69,608	74,180	106.6%	74,956	77,978	104.0%
訪問リハビリテーション	14,343	17,568	122.5%	14,887	19,492	130.9%	15,245	20,556	134.8%
居宅療養管理指導	15,301	16,857	110.2%	16,244	17,674	108.8%	17,309	20,726	119.7%
通所介護	319,653	332,820	104.1%	341,033	349,843	102.6%	365,970	349,623	95.5%
通所リハビリテーション	155,690	143,738	92.3%	165,758	155,342	93.7%	170,386	130,098	76.4%
短期入所生活介護	79,912	71,460	89.4%	81,432	77,634	95.3%	82,096	77,459	94.4%
短期入所療養介護	16,186	15,703	97.0%	16,696	22,561	135.1%	18,487	16,446	89.0%
福祉用具貸与	78,136	76,821	98.3%	82,478	82,185	99.6%	87,117	87,400	100.3%
福祉用具購入費	4,454	3,153	70.8%	4,619	3,593	77.8%	4,906	3,667	74.7%
住宅改修費	8,415	7,014	83.4%	8,849	7,730	87.4%	9,917	9,321	94.0%
特定施設入居者生活介護	21,844	24,802	113.5%	23,257	32,789	141.0%	25,107	33,172	132.1%
居宅介護支援	132,153	137,527	104.1%	136,744	149,053	109.0%	140,494	151,235	107.6%
居宅サービス・居宅介護支援合計	1,427,265	1,415,738	99.2%	1,515,649	1,543,171	101.8%	1,614,832	1,634,319	101.2%

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が合わない場合あり。



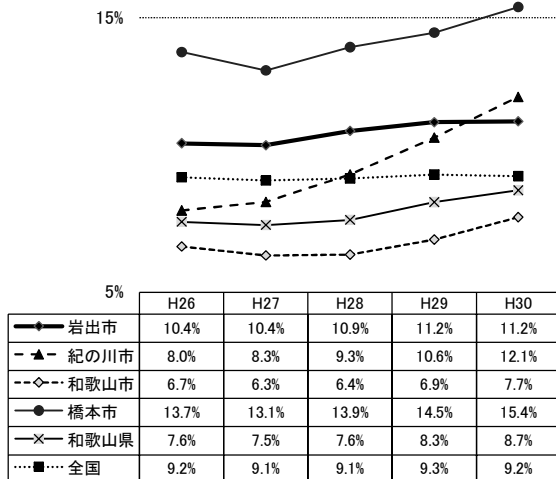
## 【リハビリテーションの提供体制の全国・県・他市との比較分析】

### ●通所リハビリテーション

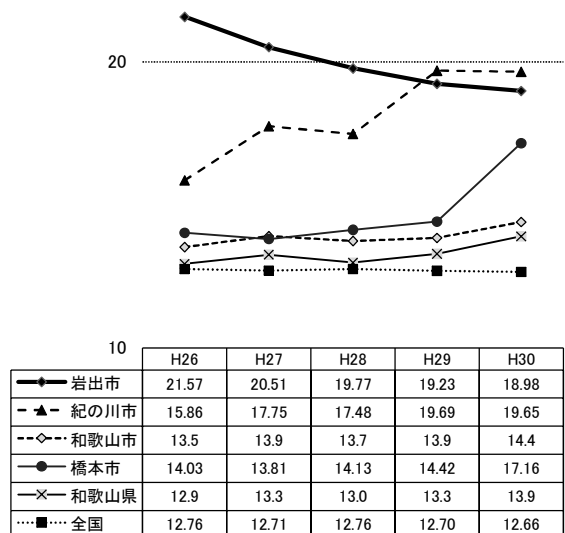
本市における通所リハビリテーションの利用率は、平成26年度から平成30年度において10%前後の横ばい傾向で推移しています。全国・和歌山県と比較すると、本市は、全国・和歌山県の利用率を上回っています。近隣自治体と比較すると、本市は、和歌山市より高く橋本市より低くなっています。また、本市は、平成29年度までは紀の川市より上回って推移していましたが、平成30年度では紀の川市が本市を上回っています。

本市における通所リハビリテーションの提供事業所数（認定者1万対）は、平成26年度から平成30年度まで減少傾向で推移し、平成30年度において18.98となっています。全国・和歌山県、近隣自治体と比較すると、本市の提供事業所数は比較対象より高い水準で推移していますが、平成29年度から平成30年度にかけては紀の川市が本市を上回って推移しています。

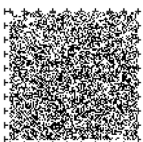
【利用率】



【提供事業所数（認定者1万対）】



※ 利用率は通所リハビリテーションの受給者数の最新月までの総和を認定者数で除した後、当該年度の月数で除して算出。  
資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報、厚生労働省「介護保険総合データベース」

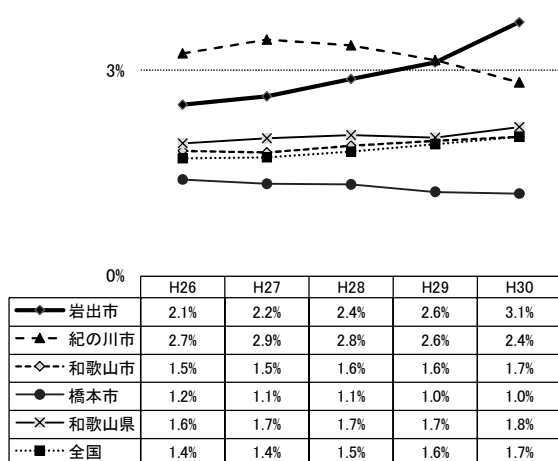


## ●訪問リハビリテーション

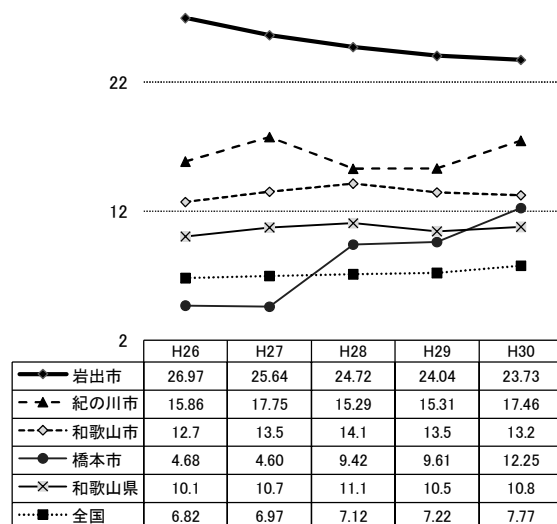
本市における訪問リハビリテーションの利用率は、平成 26 年度から平成 30 年度において上昇傾向で推移し、平成 30 年度において 3.1%となっています。全国・和歌山県、近隣自治体と比較すると、本市は、平成 26 年度においては紀の川市に続き、比較対象の中では 2 番目に高い利用率でしたが、平成 30 年度においては本市の利用率は紀の川市を抜いて最も高くなっています。

本市における訪問リハビリテーションの提供事業所数（認定者 1 万対）は、平成 26 年度から平成 30 年度まで減少傾向で推移し、平成 30 年度において 23.73 となっています。全国・和歌山県、近隣自治体と比較すると、本市の提供事業所数は、平成 26 年度から平成 30 年度にかけて比較対象の中で最も高い水準ですが、減少傾向で推移しています。

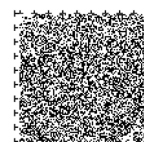
【利用率】



【提供事業所数（認定者 1 万対）】



※ 利用率は訪問リハビリテーションの受給者数の最新月までの総和を認定者数で除した後、当該年度の月数で除して算出。  
資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報、厚生労働省「介護保険総合データベース」





## (2) 介護予防サービスの計画値と利用実績の状況との比較

多くのサービスで実績値が、平成30年度から令和2年度にかけて増加傾向で推移しています。特に、介護予防特定施設入居者生活介護が5.9倍増加しています。一方、介護予防短期入所生活介護は実績値が大きく減少したサービスとなっています。これは、令和2年度の実績値が前年より大きく減少したためです。

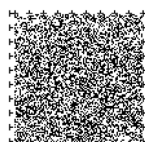
また、利用実績と計画値を比較すると、令和2年度では、介護予防特定施設入居者生活介護や介護予防居宅療養管理指導の利用実績が計画値を上回っています。一方、その他のすべてのサービスは利用実績が計画値を下回っています。

【介護予防サービスの計画値と利用実績（第7期）】

(単位：千円)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度(見込)		
	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A
介護予防 訪問入浴介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
介護予防 訪問看護	7,460	8,006	107.3%	7,676	6,339	82.6%	7,996	7,667	95.9%
介護予防 訪問リハビリテーション	4,353	2,460	56.5%	4,764	2,780	58.4%	5,173	4,426	85.6%
介護予防 居宅療養管理指導	1,743	1,607	92.2%	1,977	1,819	92.0%	2,209	2,580	116.8%
介護予防 通所リハビリテーション	21,988	20,741	94.3%	23,118	26,974	116.7%	24,681	22,593	91.5%
介護予防 短期入所生活介護	1,327	1,778	134.0%	1,374	2,242	163.2%	1,421	523	36.8%
介護予防 短期入所療養介護	706	283	40.1%	1,059	155	14.6%	1,059	280	26.4%
介護予防 福祉用具貸与	16,007	15,355	95.9%	16,860	15,807	93.8%	17,796	16,837	94.6%
特定介護予防 福祉用具購入費	2,357	2,096	88.9%	2,605	1,716	65.9%	2,605	2,305	88.5%
介護予防住宅改 修費	13,419	12,549	93.5%	16,395	9,062	55.3%	17,907	11,565	64.6%
介護予防特定施設 入居者生活介護	1,710	518	30.3%	1,710	2,299	134.4%	2,566	3,071	119.7%
介護予防支援	14,913	14,217	95.3%	15,720	15,005	95.5%	16,626	15,022	90.4%
予防給付サービス・ 介護予防支援合計	85,983	79,610	92.6%	93,258	84,198	90.3%	100,039	86,869	86.8%

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が合わない場合あり。



### (3) 地域密着型サービスの計画値と利用実績の状況との比較

地域密着型サービスの利用実績をみると、多くのサービスが平成30年度から令和2年度にかけて増加傾向で推移しています。特に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が1.6倍、小規模多機能型居宅介護が1.4倍と大きく増加しています。一方、介護予防小規模多機能型居宅介護は実績値が大きく減少したサービスとなっています。

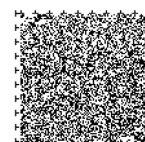
また、利用実績と計画値を比較すると、令和2年度では、介護予防認知症対応型共同生活介護の利用実績が計画値を上回っており、一方、地域密着型通所介護の利用実績が計画値を大きく下回っています。

【地域密着型サービスの計画値と利用実績（第7期）】

(単位：千円)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度(見込)			
	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	
介護給付	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1,618	—	0	1,081	—	0	2,555	—
	夜間対応型訪問介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	認知症対応型通所介護	40	0	0.0%	40	0	0.0%	40	0	0.0%
	小規模多機能型居宅介護	40,496	38,571	95.2%	42,276	49,571	117.3%	44,038	52,580	119.4%
	認知症対応型共同生活介護	193,056	187,803	97.3%	198,301	194,670	98.2%	200,393	207,401	103.5%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
地域密着型通所介護	124,582	97,213	78.0%	136,894	95,864	70.0%	149,636	80,395	53.7%	
予防給付	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	介護予防小規模多機能型居宅介護	260	907	348.8%	260	29	11.2%	260	260	100.0%
	介護予防認知症対応型共同生活介護	579	0	0.0%	579	0	0.0%	579	2,565	443.0%
地域密着型サービス合計	359,013	326,112	90.8%	378,350	341,215	90.2%	394,946	345,756	87.5%	

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が合わない場合あり。



#### (4) 施設サービスの計画値と利用実績の状況との比較

施設サービスの利用実績をみると、平成30年度から令和2年度にかけて、介護老人福祉施設では増加しており、介護老人保健施設は減少傾向で推移し、介護療養型医療施設も減少しています。介護医療院は平成30年4月に新たに創設されたサービスで、本市では令和元年度から実績があり、令和2年度にかけて増加しているのは、市内の医療機関が介護療養型医療施設から介護医療院へ転換したことによるものです。

また、利用実績と計画値を比較すると、令和2年度では、介護老人福祉施設は実績が計画値を上回り、介護老人保健施設、介護療養型医療施設は実績が計画値を下回っています。

##### 【施設サービスの計画値と利用実績（第7期）】

(単位：千円)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度(見込)		
	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A
介護老人福祉施設	381,133	373,061	97.9%	386,996	406,478	105.0%	392,689	433,673	110.4%
介護老人保健施設	326,534	301,760	92.4%	329,861	290,533	88.1%	333,257	289,564	86.9%
介護医療院	0	0	—	0	3,939	—	0	124,456	—
介護療養型医療施設	111,058	89,980	81.0%	115,259	137,169	119.0%	119,410	26,645	22.3%
施設サービス合計	818,725	764,801	93.4%	832,116	838,119	100.7%	845,356	874,338	103.4%

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が合わない場合あり。

#### (5) 計画値と給付実績との比較

給付実績をみると、すべてのサービスにおいて増加傾向で推移しています。

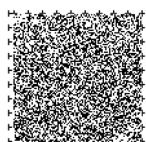
また、利用実績と計画値を比較すると、令和2年度では、居宅介護サービス・居宅介護支援、施設サービスで実績値が計画値を上回り、介護予防サービス・介護予防支援、地域密着型サービスで実績値が計画値を下回っています。

##### 【計画値と給付実績（第7期）】

(単位：千円)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度(見込)		
	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A	計画値 A	実績値 B	計画比 B/A
居宅介護サービス・ 居宅介護支援	1,427,265	1,415,738	99.2%	1,515,649	1,543,171	101.8%	1,614,832	1,634,319	101.2%
介護予防サービス・ 介護予防支援	85,983	79,610	92.6%	93,258	84,198	90.3%	100,039	86,869	86.8%
地域密着型サービス	359,013	326,112	90.8%	378,350	341,215	90.2%	394,946	345,756	87.5%
施設サービス	818,725	764,801	93.4%	832,116	838,119	100.7%	845,356	874,338	103.4%
総給付費	2,690,986	2,586,261	96.1%	2,819,373	2,806,703	99.6%	2,955,173	2,941,282	99.5%

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が合わない場合あり。



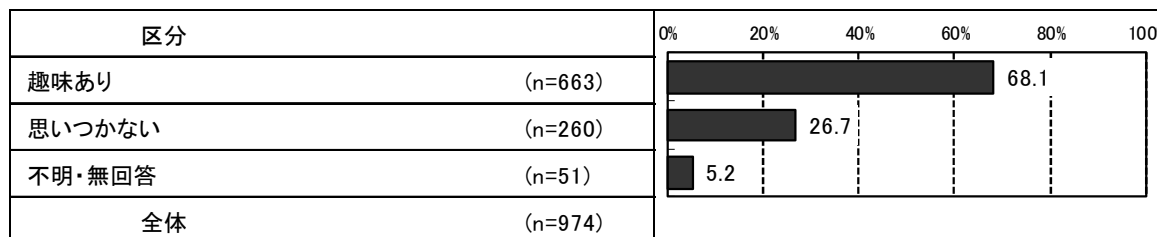
## 5. アンケート調査結果からみる高齢者等の状況

※表中の「n」は回答者数を表しています。以下の図も同様です。  
 ※（ ）内のデータは前回調査（平成27年度実施）の回答割合を表します。

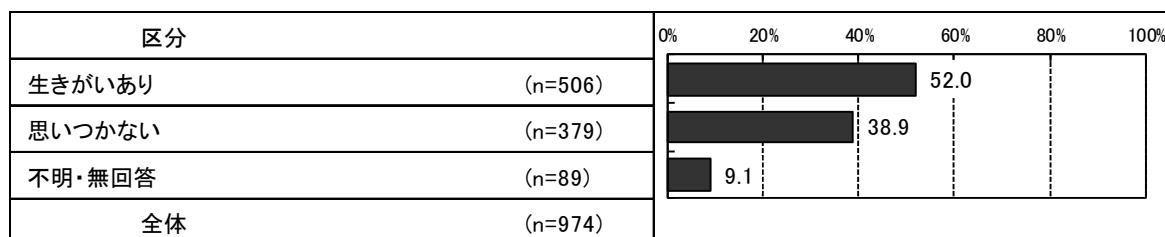
### （1）社会参加の状況・意識

#### ①趣味や生きがいの有無 【一般高齢者】

趣味については、「趣味あり」が68.1%（←69.1%）、「思いつかない」が26.7%（←24.0%）となっています。



生きがいについては、「生きがいあり」が52.0%（←52.7%）、「思いつかない」が38.9%（←36.8%）となっています。



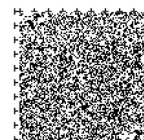
#### ■性別・年齢別

（単位：人、%）

	合計	生きがいあり	思いつかない	不明・無回答
全体	974	52.0	38.9	9.1
男性	467	52.9	41.3	5.8
女性	499	51.3	36.5	12.2

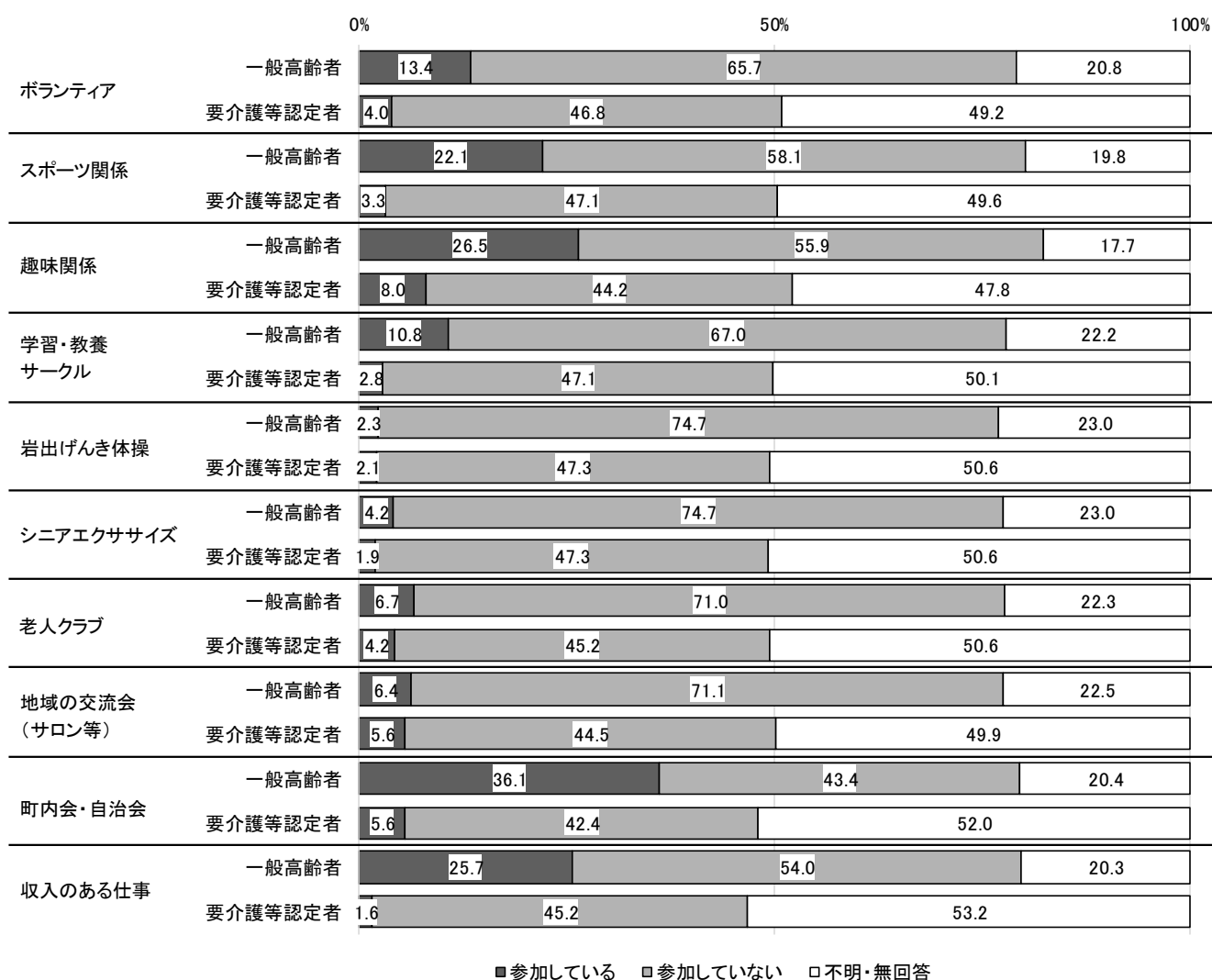
（単位：人、%）

	合計	生きがいあり	思いつかない	不明・無回答
65～69歳	276	52.9	40.9	6.2
70～74歳	312	54.5	40.1	5.4
75～79歳	239	48.5	39.3	12.1
80～84歳	97	50.5	37.1	12.4
85～89歳	36	50.0	19.4	30.6
90歳以上	9	55.6	22.2	22.2



## ②社会参加の概況 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

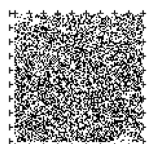
一般高齢者では「趣味関係」の「参加している」が 26.5% (←25.9%)、「収入のある仕事」が 25.7% (←22.1%)、「スポーツ関係」が 22.1% (←22.2%) となっています。要介護等認定者では「趣味関係」が 8.0% (←13.2% (要支援のみ))、「地域の交流会」「町内会・自治会」が 5.6% (←12.6% (要支援のみ、「町内会・自治会」)) となっています。(※「地域の交流会」は前回調査にはない設問)

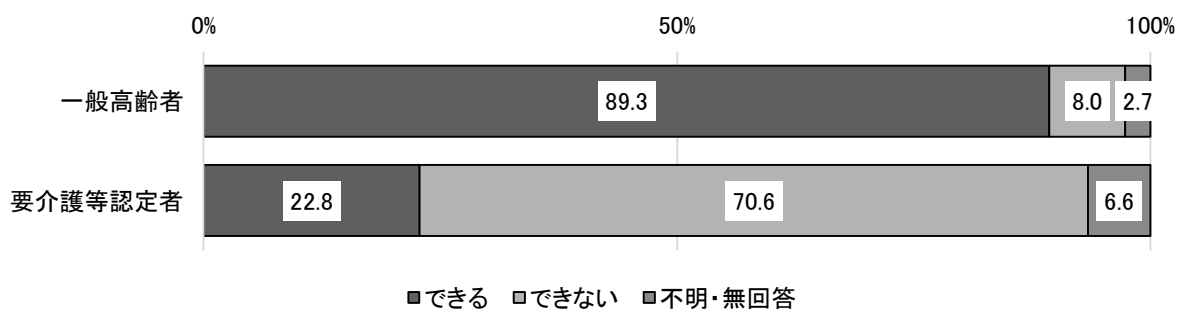


## ③災害時の対応 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

一般高齢者では「できる」が 89.3% (←89.8%)、「できない」が 8.0% (←6.3%) となっています。要介護等認定者では「できない」が 70.6% (←61.5% (要支援)、81.1% (要介護))、「できる」が 22.8% (←29.4% (要支援)、12.7% (要介護)) となっています。

家族構成別 (要介護等認定者) にみると、一人暮らしでは「できない」が 60.5% となっています。





### ■ 家族構成別 【要介護等認定者】

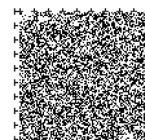
(単位: 人、%)

	合計	できる	できない	不明・無回答
全体	697	22.8	70.6	6.6
一人暮らし	200	32.0	60.5	7.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	186	25.3	67.7	7.0
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	13	30.8	69.2	0.0
息子・娘との2世帯	138	15.9	78.3	5.8
その他	133	12.0	83.5	4.5

### ■ 住居別 【要介護等認定者】

(単位: 上段 人、下段 %)

	合計	できる	できない	不明・無回答
全体	697	159	492	46
	100.0	22.8	70.6	6.6
持家一戸建て住宅	523	129	357	37
	100.0	24.7	68.3	7.1
持家集合住宅	23	5	17	1
	100.0	21.7	73.9	4.3
公営賃貸住宅	8	1	7	0
	100.0	12.5	87.5	0.0
民間賃貸一戸建て住宅	5	3	2	0
	100.0	60.0	40.0	0.0
民間賃貸集合住宅	27	7	20	0
	100.0	25.9	74.1	0.0
借家	12	4	7	1
	100.0	33.3	58.3	8.3
施設(有料老人ホーム、ケアハウス、 特別養護老人ホームなど)	66	3	61	2
	100.0	4.5	92.4	3.0
その他	13	4	9	0
	100.0	30.8	69.2	0.0



■要介護度別【要介護等認定者】

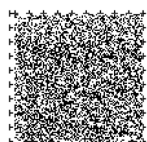
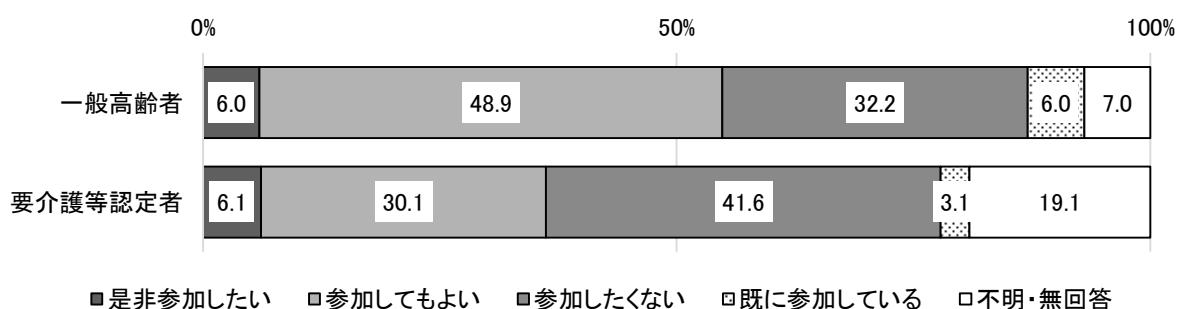
(単位:上段 人、下段 %)

	合計	できる	できない	不明・無回答
全体	697 100.0	159 22.8	492 70.6	46 6.6
要支援1	249 100.0	83 33.3	152 61.0	14 5.6
要支援2	176 100.0	44 25.0	125 71.0	7 4.0
要介護1	57 100.0	14 24.6	42 73.7	1 1.8
要介護2	48 100.0	3 6.3	43 89.6	2 4.2
要介護3	50 100.0	1 2.0	49 98.0	0 0.0
要介護4	40 100.0	1 2.5	36 90.0	3 7.5
要介護5	21 100.0	0 0.0	21 100.0	0 0.0

④地域づくりへの参加意向

■参加者としての意向【一般高齢者】【要介護等認定者】

一般高齢者では「参加してもよい」が48.9% (←55.5%) で最も多く、次いで「参加したくない」が32.2% (←28.6%)、「是非参加したい」が6.0% (←10.8%)、「既に参加している」が6.0% (前回なし) となっています。要介護等認定者では「参加したくない」が41.6% (←65.2% (要支援のみ)) で最も多く、次いで「参加してもよい」が30.1% (←16.1% (要支援のみ))、「是非参加したい」が6.1% (←7.2% (要支援のみ)) となっています。



## ■性別

### 一般高齢者

(単位:人、%)

	合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答
全体	974	6.0	48.9	32.2	6.0	7.0
男性	467	5.8	50.1	33.8	4.5	5.8
女性	499	6.0	48.1	30.7	7.2	8.0

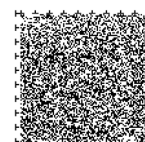
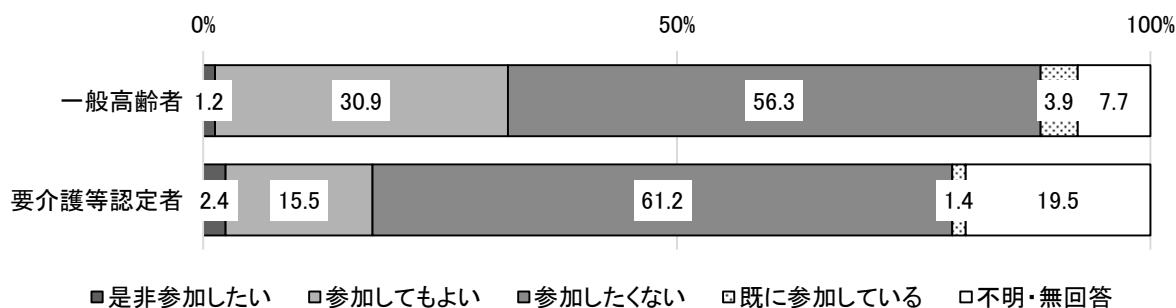
### 要介護等認定者

(単位:人、%)

	合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答
全体	425	6.1	30.1	41.6	3.1	19.1
男性	122	4.9	35.2	40.2	1.6	18.0
女性	290	6.6	29.0	42.8	3.1	18.6

## ■お世話役としての意向【一般高齢者】【要介護等認定者】

一般高齢者では「参加したくない」が56.3%（←56.6%）で最も多く、次いで「参加してもよい」が30.9%（←33.6%）、「既に参加している」が3.9%（前回なし）となっています。要介護等認定者では「参加したくない」が61.2%（←65.2%（要支援のみ））で最も多く、次いで「参加してもよい」が15.5%（←16.1%（要支援のみ））、「是非参加したい」が2.4%（←2.7%）となっています。

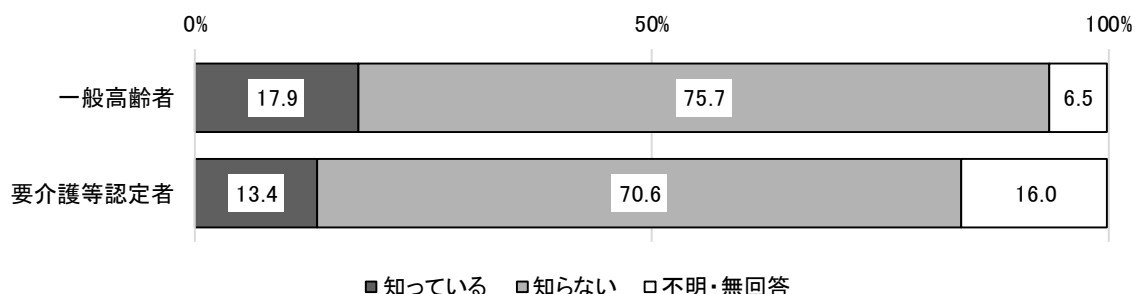




## ⑤ いわで交流マップの認知度等

### ■ 認知度 【一般高齢者】【要介護等認定者】

一般高齢者では「知らない」が75.7%、「知っている」が17.9%となっています。要介護等認定者では「知らない」が70.6%、「知っている」が13.4%となっています。



### ■ 性別・年齢別 【一般高齢者】

(単位:人、%)

	合計	知っている	知らない	不明・無回答
全体	974	17.9	75.7	6.5
男性	467	13.7	82.0	4.3
女性	499	22.0	69.5	8.4

(単位:人、%)

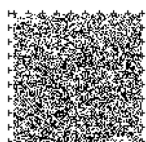
	合計	知っている	知らない	不明・無回答
65～69歳	276	14.1	84.4	1.4
70～74歳	312	17.0	77.9	5.1
75～79歳	239	23.0	68.6	8.4
80～84歳	97	19.6	66.0	14.4
85～89歳	36	19.4	63.9	16.7
90歳以上	9	11.1	66.7	22.2

#### 「いわで交流マップ」とは？

地域の交流会(サロン)や体操、学習会など、高齢者の仲間づくり、とじこもり予防、介護予防につながる身近な交流の場の情報をまとめたもので、冊子版とウェブサイト版があります。

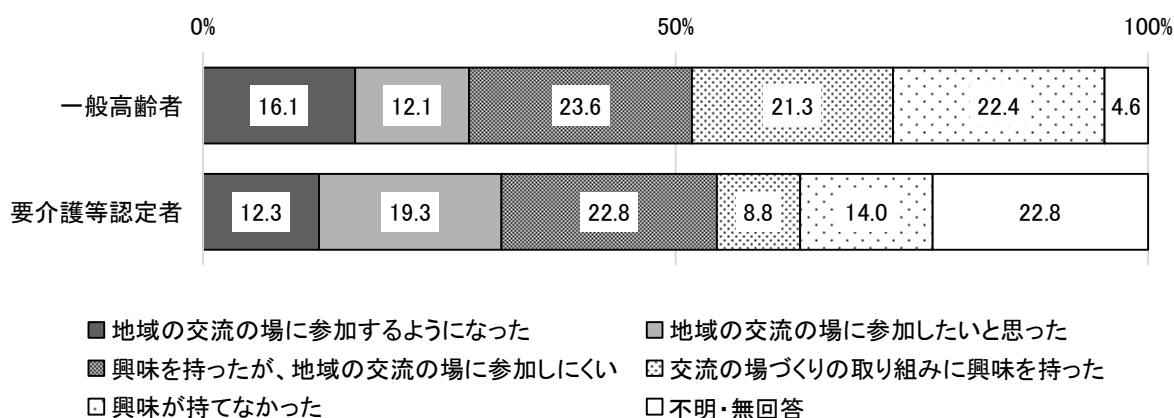


QRコード  
スマートフォン等で読み取ってください。「いわで交流マップ」の  
情報を見ることができます。



## ■いわで交流マップを知った後、地域交流に対する考えの変化【一般高齢者】【要介護等認定者】

一般高齢者では「興味を持ったが、地域の交流の場に参加しにくい」が23.6%で最も多く、次いで「興味を持てなかった」が22.4%、「交流の場づくりの取り組みに興味を持った」が21.3%となっています。要介護等認定者では「興味を持ったが、地域の交流の場に参加しにくい」が22.8%で最も多く、次いで「地域の交流の場に参加したいと思った」が19.3%、「興味を持てなかった」が14.0%となっています。



## ■年齢別【一般高齢者】

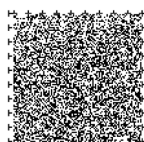
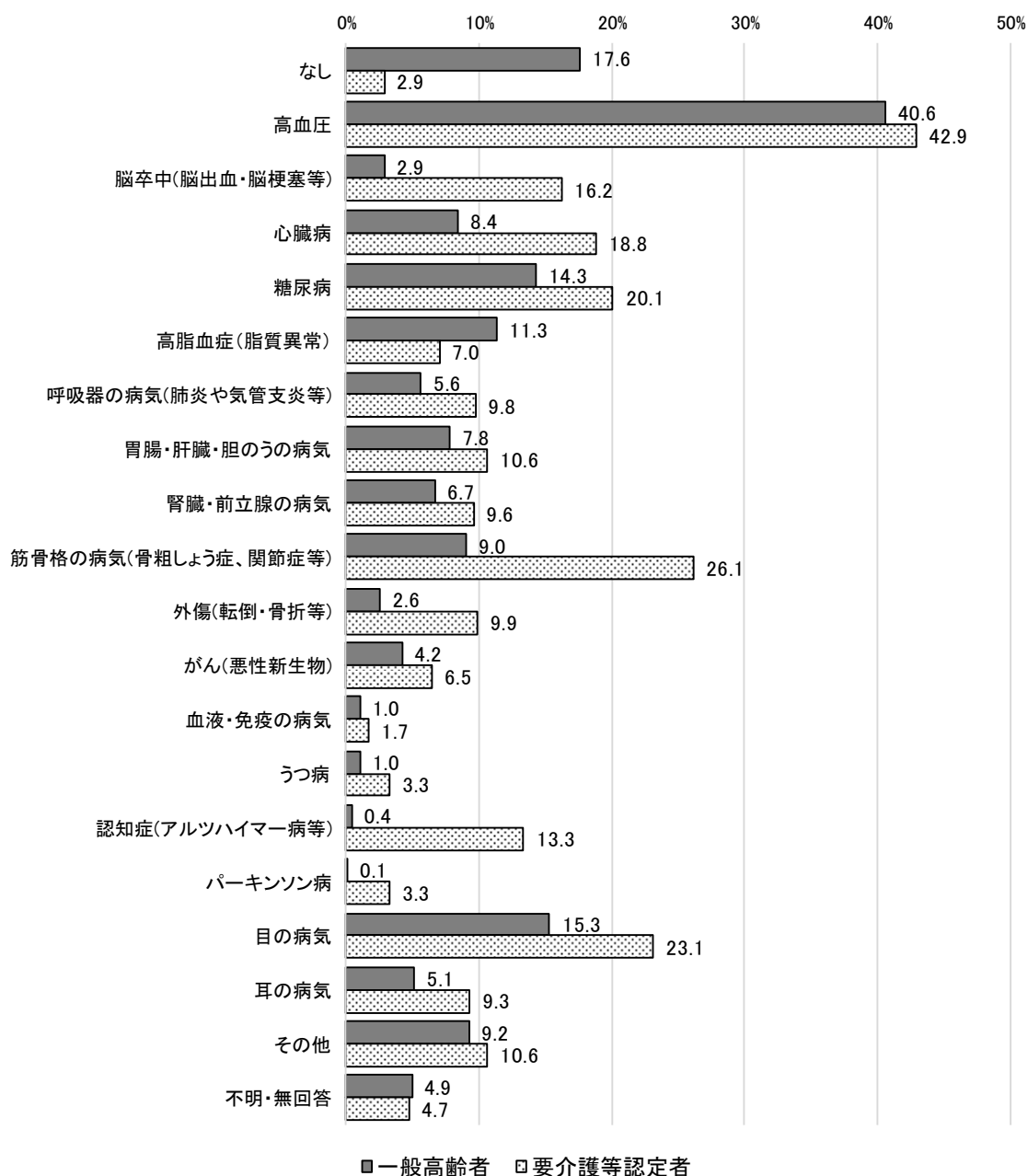
(単位:人、%)

	合計	地域の交流の場に参加するようになった	地域の交流の場に参加したいと思った	興味を持ったが、地域の交流の場に参加しにくい	交流の場づくりの取り組みに興味を持った	興味を持てなかった	不明・無回答
全体	174	16.1	12.1	23.6	21.3	22.4	4.6
65～69歳	39	7.7	15.4	12.8	30.8	28.2	5.1
70～74歳	53	11.3	3.8	32.1	30.2	17.0	5.7
75～79歳	55	27.3	20.0	14.5	12.7	23.6	1.8
80～84歳	19	10.5	5.3	47.4	10.5	21.1	5.3
85～89歳	7	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3
90歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0



## (2) 治療中等の病気 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

一般高齢者では「高血圧」が40.6% (←39.0%) で最も多く、次いで「なし」が17.6% (←19.7%)、  
「目の病気」が15.3% (←14.2%) となっています。要介護等認定者では「高血圧」が42.9% (←48.1%  
(要支援)、35.8% (要介護)) で最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」  
が26.1% (←37.4% (要支援)、17.9% (要介護))、「目の病気」が23.1% (←28.0% (要支援)、  
16.3% (要介護)) となっています。

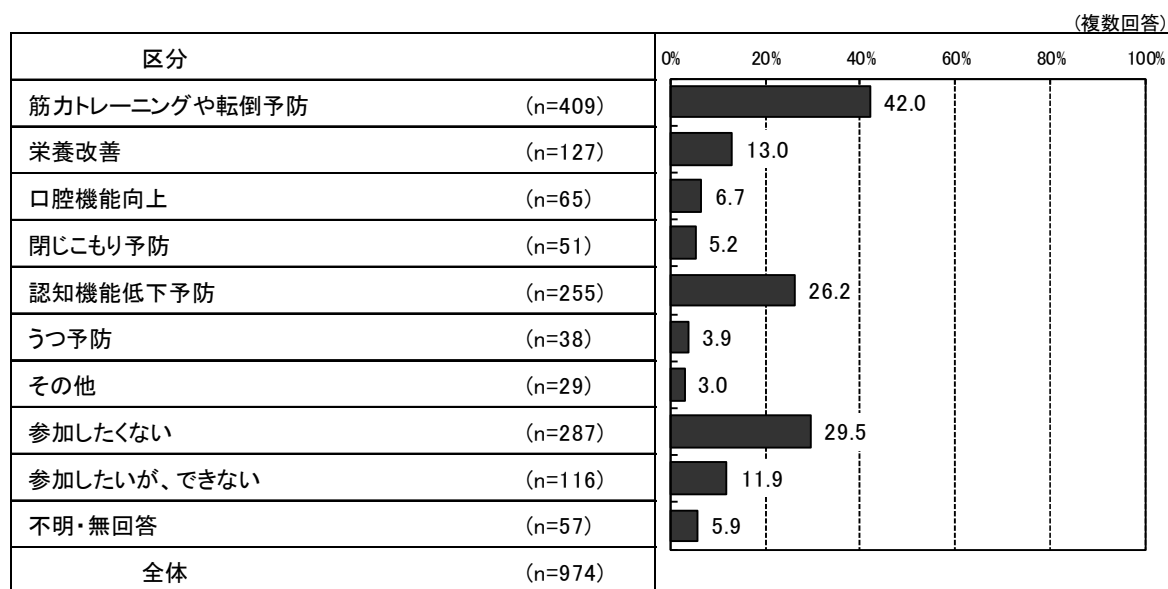


### (3) 介護予防についての意識 【一般高齢者】

#### ① 介護予防教室（事業）への参加意向

「筋力トレーニングや転倒予防」が42.0%（←39.9%）で最も多く、次いで「参加したくない」が29.5%（←30.1%）、「認知機能低下予防」が26.2%（←27.4%）となっています。

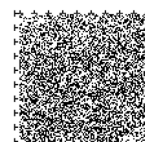
性別にみると、「筋力トレーニングや転倒予防」、「認知機能低下予防」とともに女性が男性を上回っています。「参加したくない」では、男性が女性を上回っています。



#### ■性別【一般高齢者】

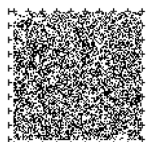
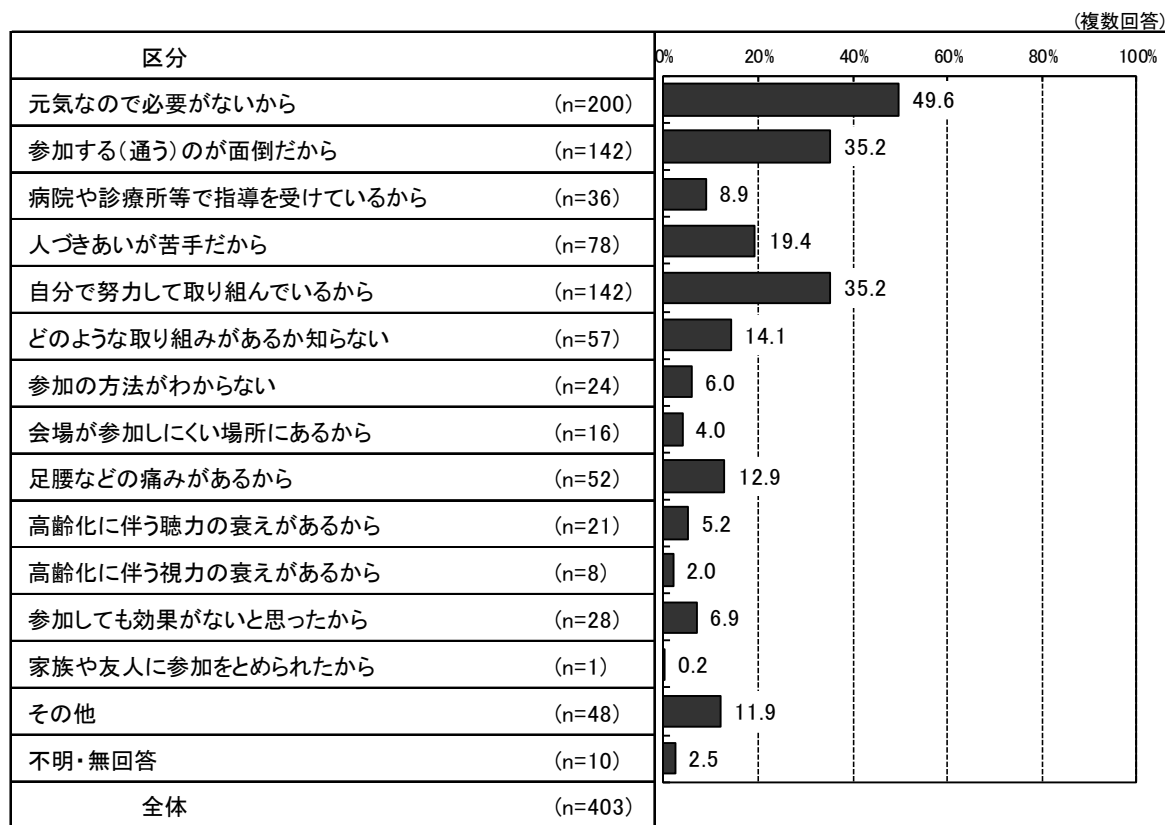
(単位:人、%)

	合計	筋力トレーニングや転倒予防	栄養改善	口腔機能向上	閉じこもり予防	認知機能低下予防	うつ予防	その他	参加したくない	参加したいが、できない
全体	974	42.0	13.0	6.7	5.2	26.2	3.9	3.0	29.5	11.9
男性	467	36.6	9.4	4.3	4.1	22.3	3.0	3.0	37.9	8.1
女性	499	47.5	16.0	8.8	6.4	30.1	4.8	2.8	21.4	15.6



## ②介護予防教室（事業）への不参加意向の理由

「元気なので必要がないから」が49.6%（←54.3%）で最も多く、次いで「参加する（通う）のが面倒だから」が35.2%（←38.0%）、「自分で努力して取り組んでいるから」が35.2%（←30.9%）、「人づきあいが苦手だから」が19.4%（←18.2%）となっています。



## ■世帯構成別【一般高齢者】

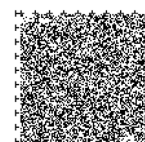
(単位:人、%)

	合計	元気なので必要がないから	参加する(通う)のが面倒だから	病院や診療所等で指導を受けているから	人づきあいが苦手だから	自分で努力して取り組んでいるから	どのような取り組みがあるか知らない	参加の方法がわからない	会場が参加しにくい場所にあるから	足腰などの痛みがあるから	高齢化に伴う聴力の衰えがあるから	高齢化に伴う視力の衰えがあるから	参加しても効果がないと思ったから	家族や友人に参加をとめられたから	その他	不明・無回答
全体	403	49.6	35.2	8.9	19.4	35.2	14.1	6.0	4.0	12.9	5.2	2.0	6.9	0.2	11.9	2.5
一人暮らし	66	33.3	37.9	12.1	25.8	42.4	16.7	4.5	10.6	21.2	3.0	0.0	4.5	0.0	9.1	1.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	188	53.2	30.3	9.0	17.6	35.1	10.1	5.9	3.2	12.2	5.9	0.5	6.9	0.0	11.7	3.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	29	55.2	44.8	3.4	13.8	37.9	13.8	6.9	3.4	3.4	0.0	3.4	17.2	0.0	3.4	3.4
息子・娘との2世帯	51	52.9	29.4	7.8	19.6	31.4	17.6	2.0	3.9	13.7	5.9	5.9	5.9	2.0	13.7	2.0
その他	64	50.0	48.4	9.4	20.3	32.8	20.3	10.9	0.0	10.9	7.8	4.7	4.7	0.0	14.1	1.6

## ■性別【一般高齢者】

(単位:人、%)

	合計	元気なので必要がないから	人づきあいが苦手だから	自分で努力して取り組んでいるから
全体	403	49.6	19.4	35.2
男性	215	58.6	20.9	34.0
女性	185	39.5	17.3	37.3



### ③ 運動習慣

「運動の習慣有」が76.2%、「運動の習慣無」が23.8%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
運動の習慣有	(n=381)	76.2					
運動の習慣無	(n=119)	23.8					
不明・無回答	(n=0)	0.0					
全体	(n=500)						

### ■ 性別

(単位:人、%)

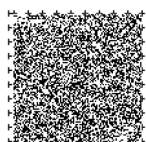
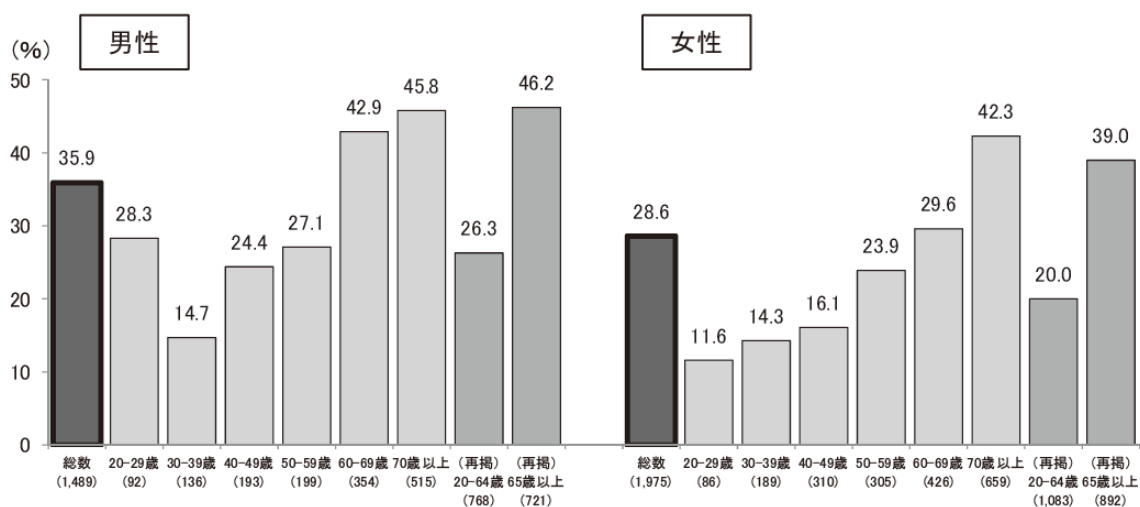
	合計	運動の習慣有	運動の習慣無	不明・無回答
全体	500	76.2	23.8	0.0
男性	261	80.8	19.2	0.0
女性	238	71.0	29.0	0.0

### 【参考】全国における運動習慣(厚生労働省 平成29年国民健康・栄養調査報告)

調査対象が完全に一致しないため単純比較に注意する必要がありますが、男性、女性ともに、全国と比較して本市の「運動の習慣有」の割合が高くなっています。

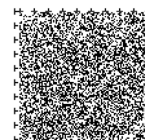
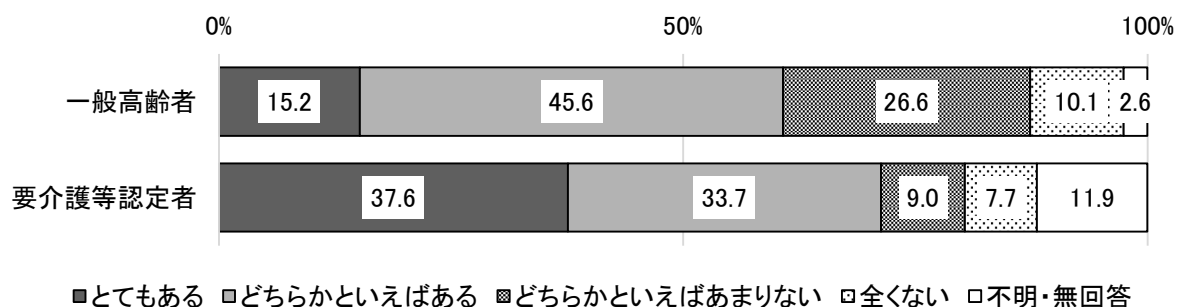
#### ※国民健康・栄養調査報告の調査対象について

本調査の対象は「1歳以上の者」であり、要介護等認定者も含まれると思われませんが、在宅患者、社会福祉施設等の入所者等は対象から除外されているため、参考値として示しています。



#### (4) 認知症に対する不安・心配 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

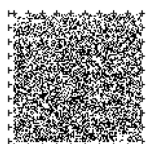
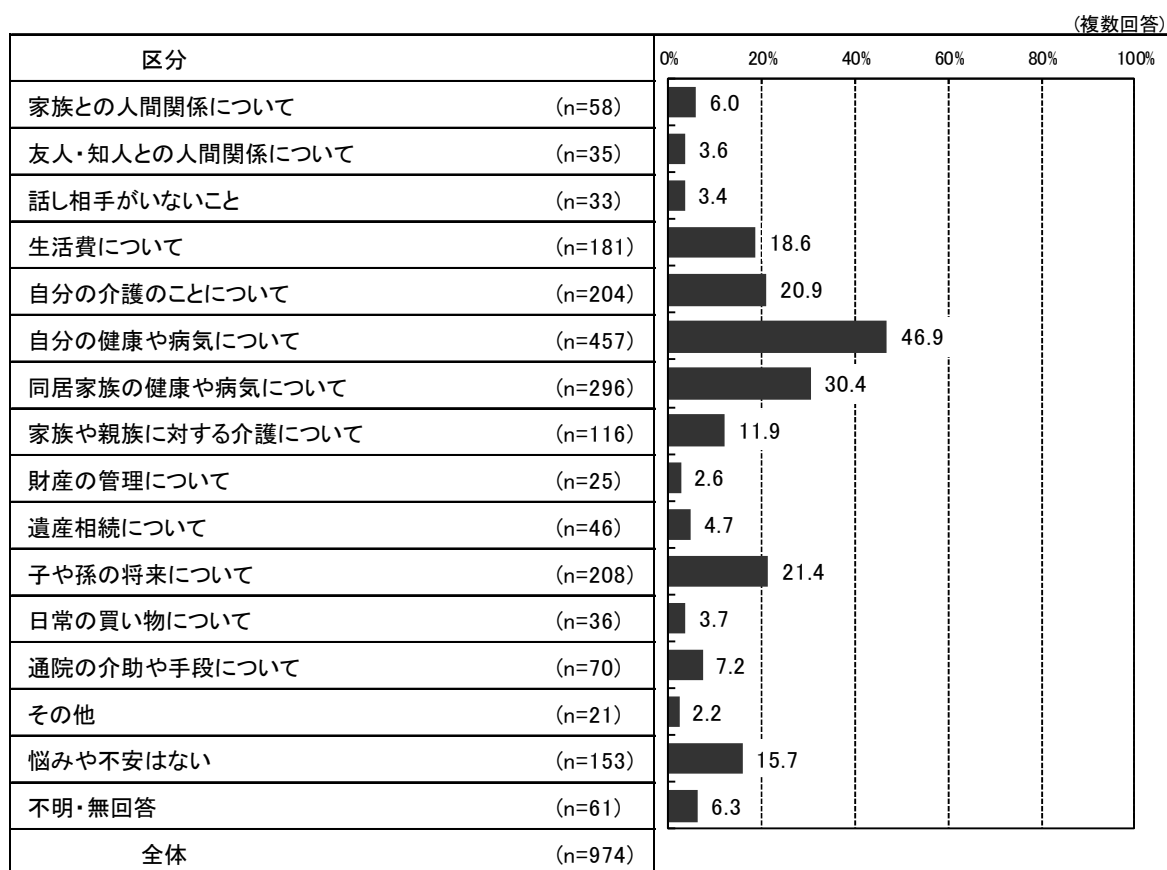
一般高齢者では「どちらかといえばある」が45.6% (←43.6%) で最も多く、次いで「どちらかといえばあまりない」が26.6% (←23.2%)、「とてもある」が15.2% (←18.0%) となっています。要介護等認定者では「とてもある」が37.6% (←30.9% (要支援)、39.7% (要介護)) で最も多く、次いで「どちらかといえばある」が33.7% (←37.4% (要支援)、32.6% (要介護))、「どちらかといえばあまりない」が9.0% (←12.6% (要支援)、10.4% (要介護)) となっています。





### (5) 日頃の悩み・不安について 【一般高齢者】

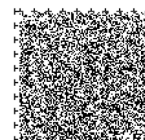
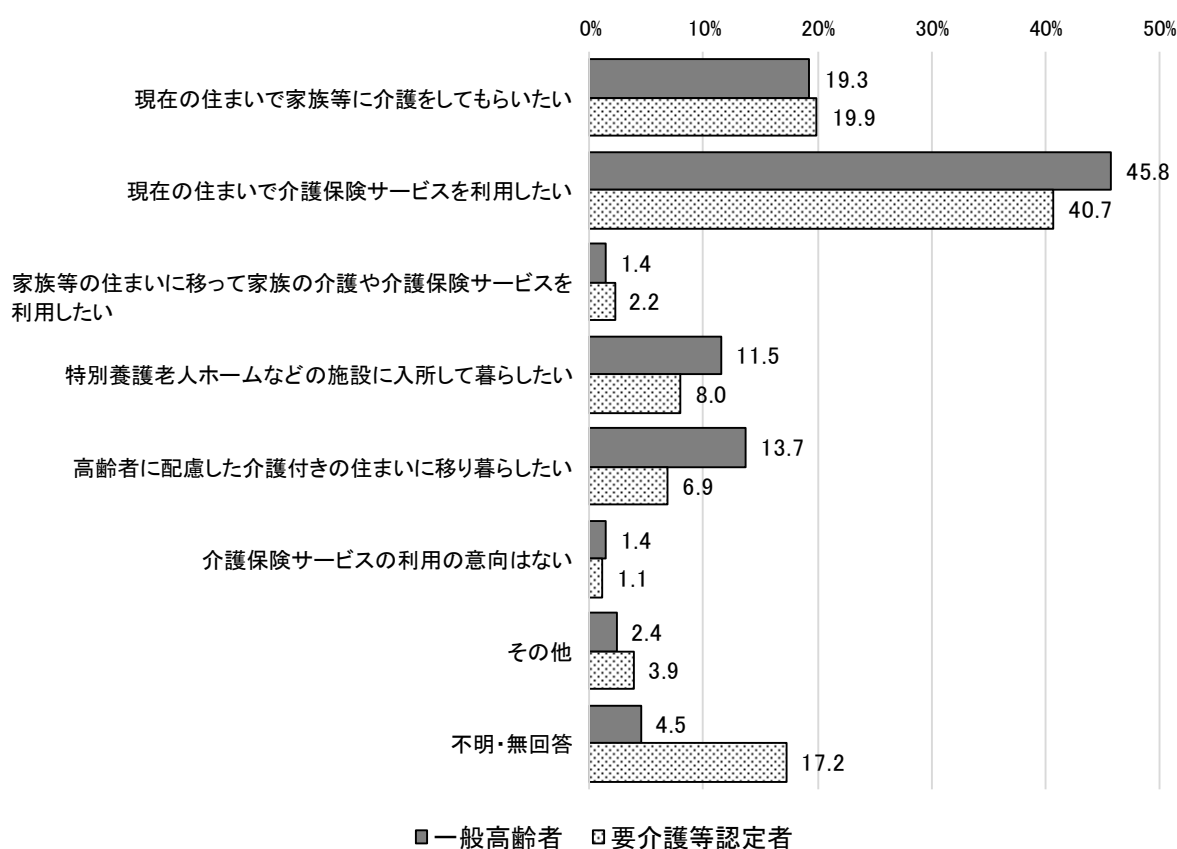
「自分の健康や病気について」が46.9% (←44.7%) で最も多く、次いで「同居家族の健康や病気について」が30.4% (←31.3%)、「子や孫の将来について」が21.4% (←23.4%) となっています。



## (6) 介護が必要な状態になった場合等の生活について

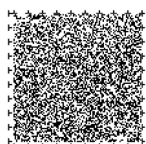
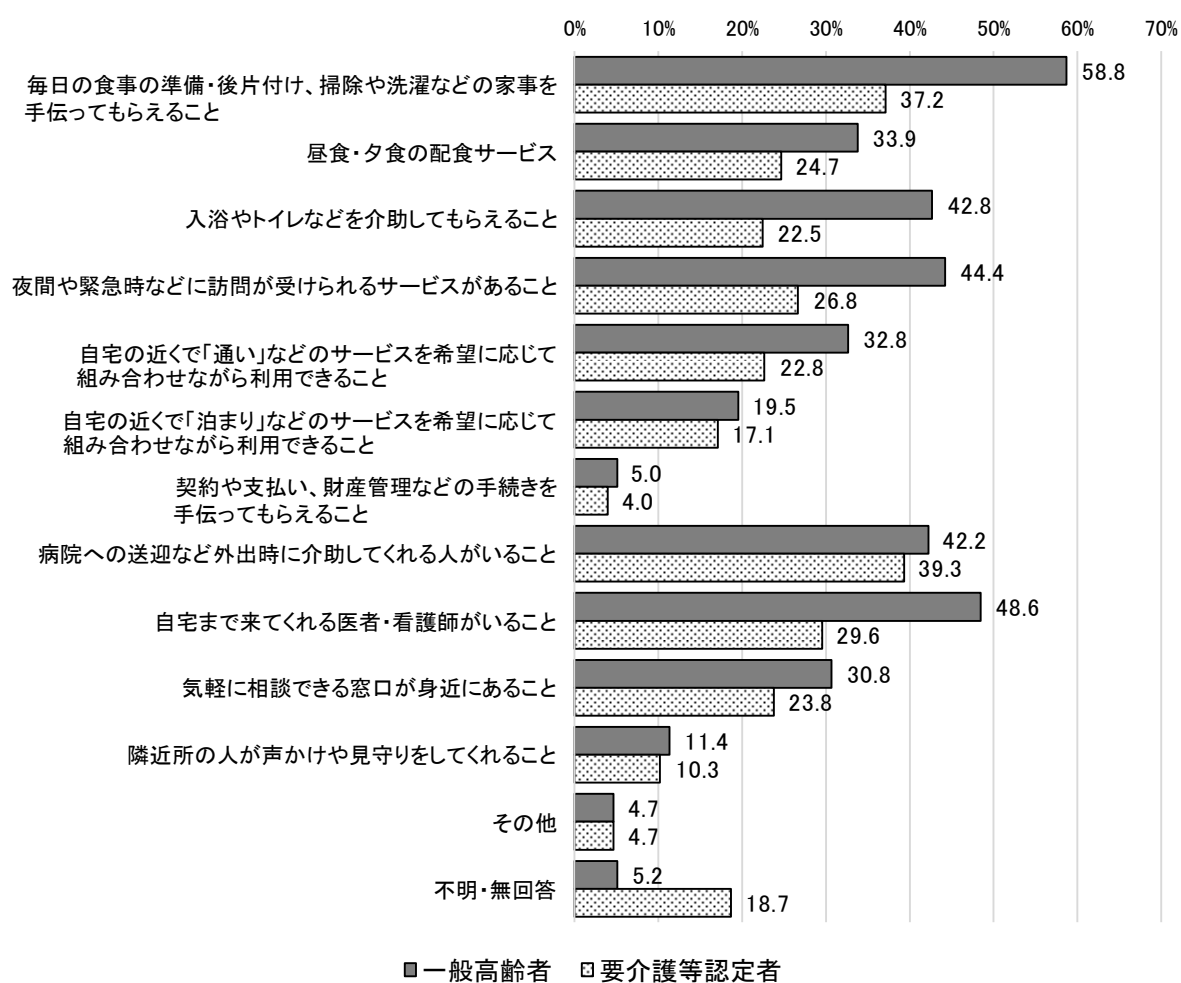
### ①希望する生活 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

一般高齢者では「現在の住まいで介護保険サービスを利用したい」が 45.8% (←41.1%) で最も多く、次いで「現在の住まいで家族等に介護をしてもらいたい」が 19.3% (←20.5%)、「高齢者に配慮した介護付きの住まいに移り暮らしたい」が 13.7% (←12.2%) となっています。要介護等認定者では「現在の住まいで介護保険サービスを利用したい」が 40.7% (←40.0% (要支援)、36.5% (要介護)) で最も多く、次いで「現在の住まいで家族等に介護をしてもらいたい」が 19.9% (←24.7% (要支援)、24.4% (要介護))、「特別養護老人ホームなどの施設に入所して暮らしたい」が 8.0% (←7.0% (要支援)、10.4% (要介護)) となっています。



## ② 自立生活に必要な支援 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

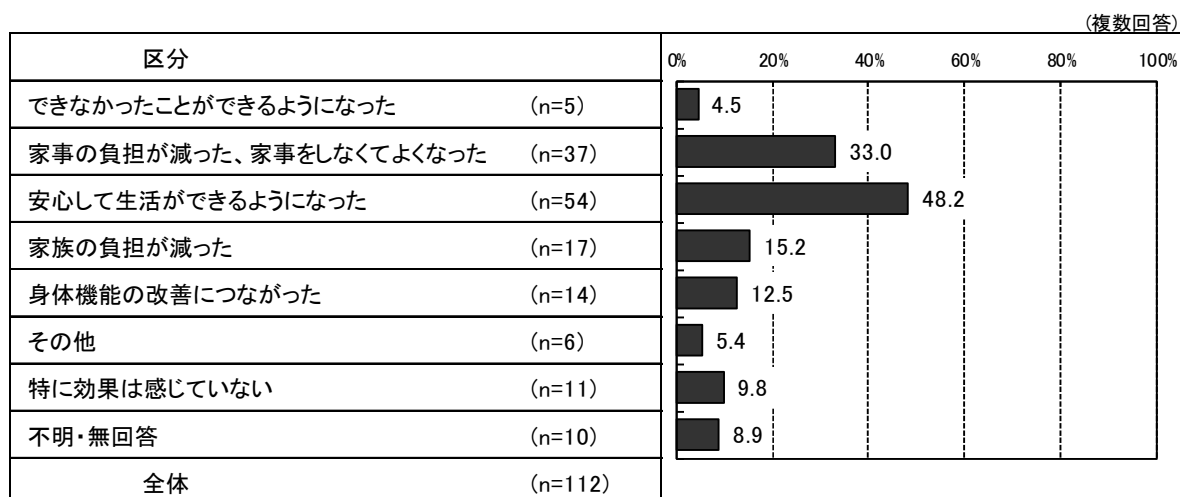
一般高齢者では「毎日の食事の準備・後片付け、掃除や洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が58.8%（←55.9%）で最も多く、次いで「自宅まで来てくれる医者・看護師がいること」が48.6%（←40.7%）、「夜間や緊急時などに訪問が受けられるサービスがあること」が44.4%（←39.8%）となっています。要介護等認定者では「病院への送迎など外出時に介助してくれる人がいること」が39.3%（←41.2%（要支援）、30.3%（要介護））で最も多く、次いで「毎日の食事の準備・後片付け、掃除や洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が37.2%（←39.9%（要支援）、35.2%（要介護））、「自宅まで来てくれる医者・看護師がいること」が29.6%（←28.4%（要支援）、29.3%（要介護））となっています。



## (7) 介護保険制度について

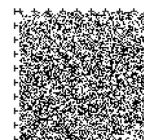
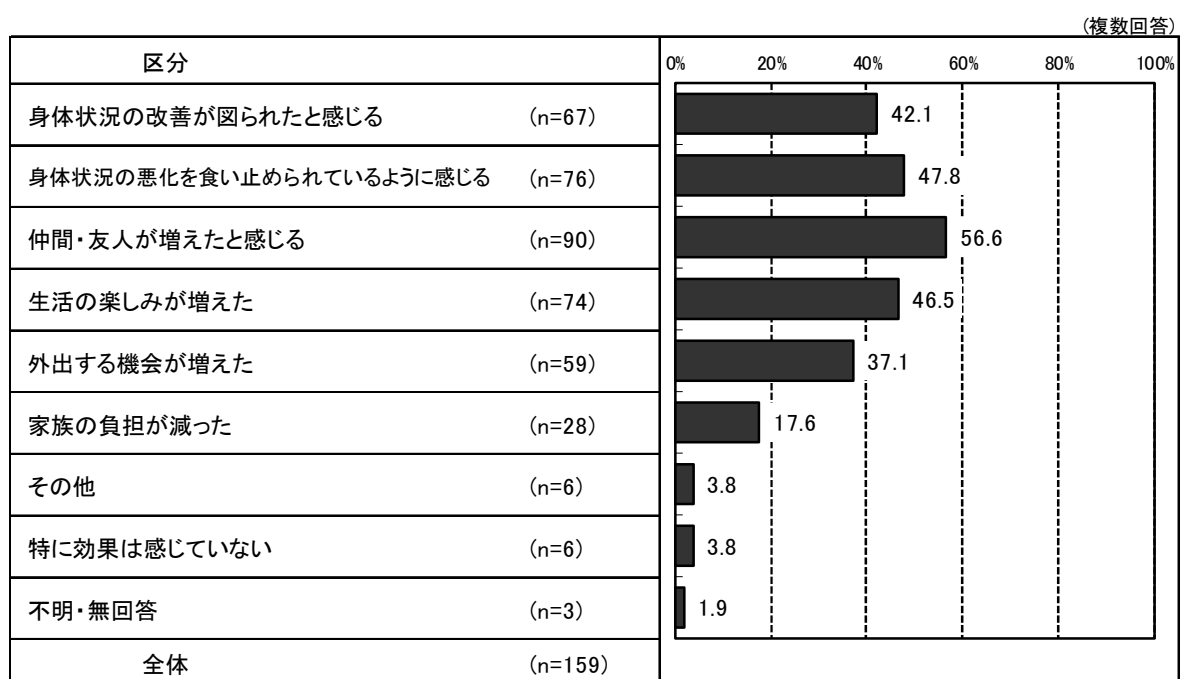
### ①訪問型サービスの効果 【要支援認定者】（サービスを受けている方）

「安心して生活ができるようになった」が48.2%（←49.0%）で最も多く、次いで「家事の負担が減った、家事をしなくてよくなった」が33.0%（←34.5%）、「家族の負担が減った」が15.2%（←24.1%）となっています。



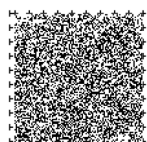
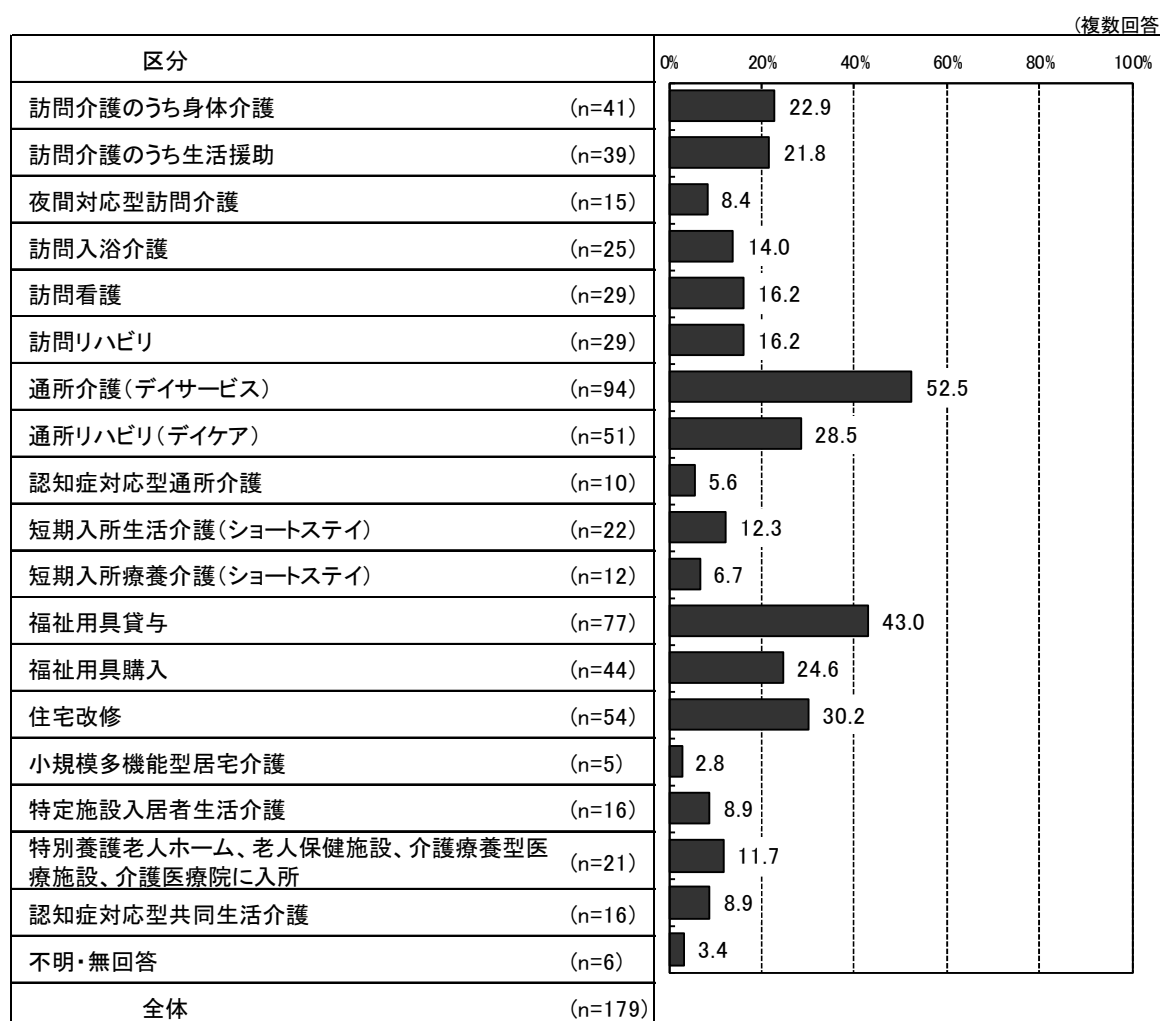
### ②通所型サービスの効果【要支援認定者】（サービスを受けている方）

「仲間・友人が増えたと感じる」が56.6%（←51.3%）で最も多く、次いで「身体状況の悪化を食い止められているように感じる」が47.8%（←32.8%）、「生活の楽しみが増えた」が46.5%（←42.1%）となっています。



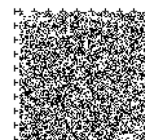
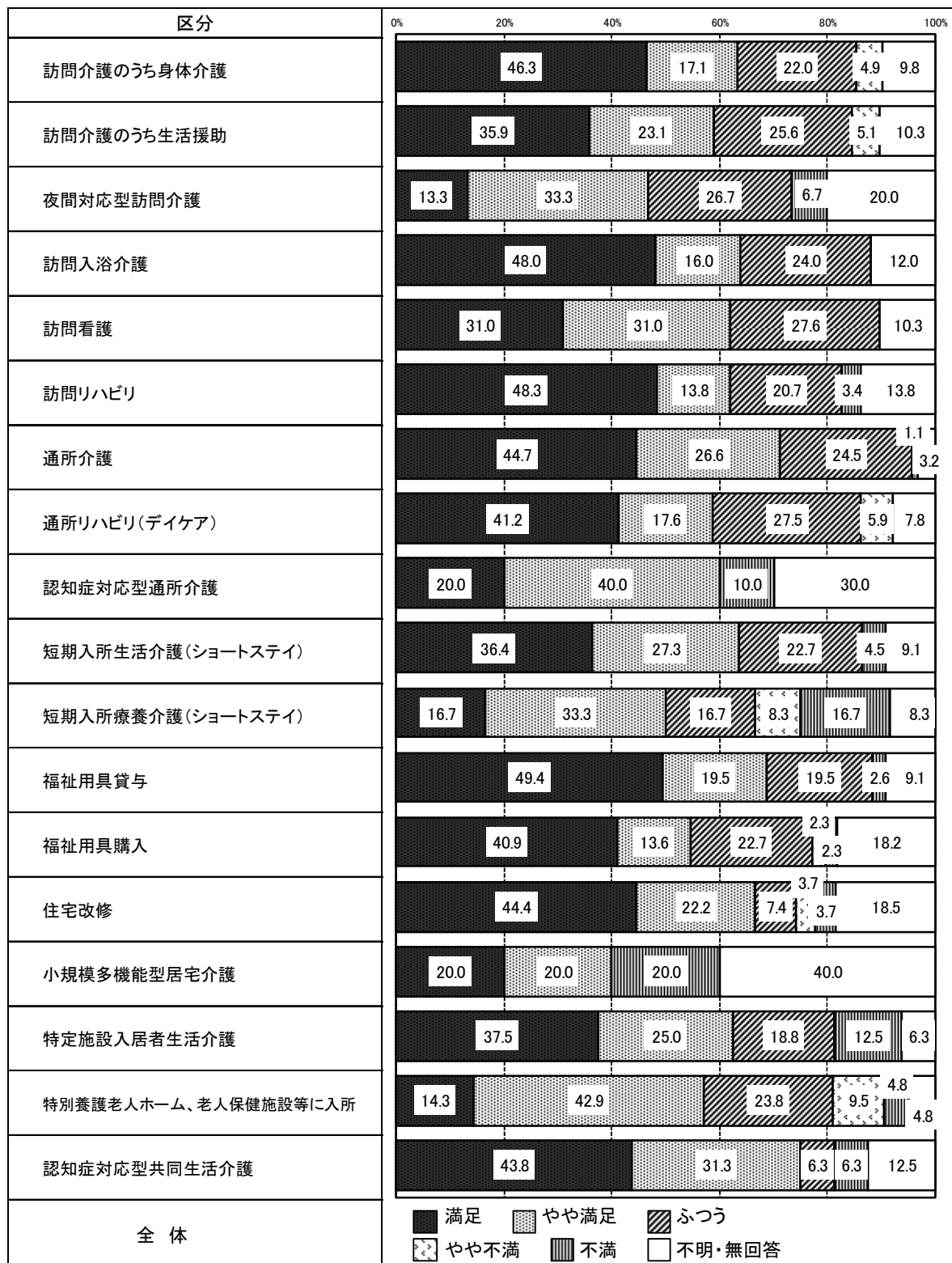
### ③利用している介護サービス 【要介護認定者】（サービスを受けている方）

「通所介護（デイサービス）」が 52.5%（←51.0%）で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が 43.0%（←45.0%）、「住宅改修」が 30.2%（←30.7%）となっています。



#### ④介護保険サービスの満足度 【要介護認定者】（サービスを受けている方）

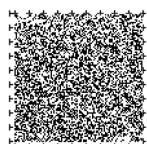
「福祉用具貸与」の満足度が49.4%で最も高く、次いで「訪問リハビリ」が48.3%、「訪問入浴介護」が48.0%となっています。



満足度について前回と比較すると、「満足」では、「認知症対応型共同生活介護」「認知症対応型通所介護」「短期入所生活介護（ショートステイ）」が増加し、「福祉用具購入」「訪問看護」「小規模多機能型居宅介護」が減少しています。

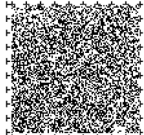
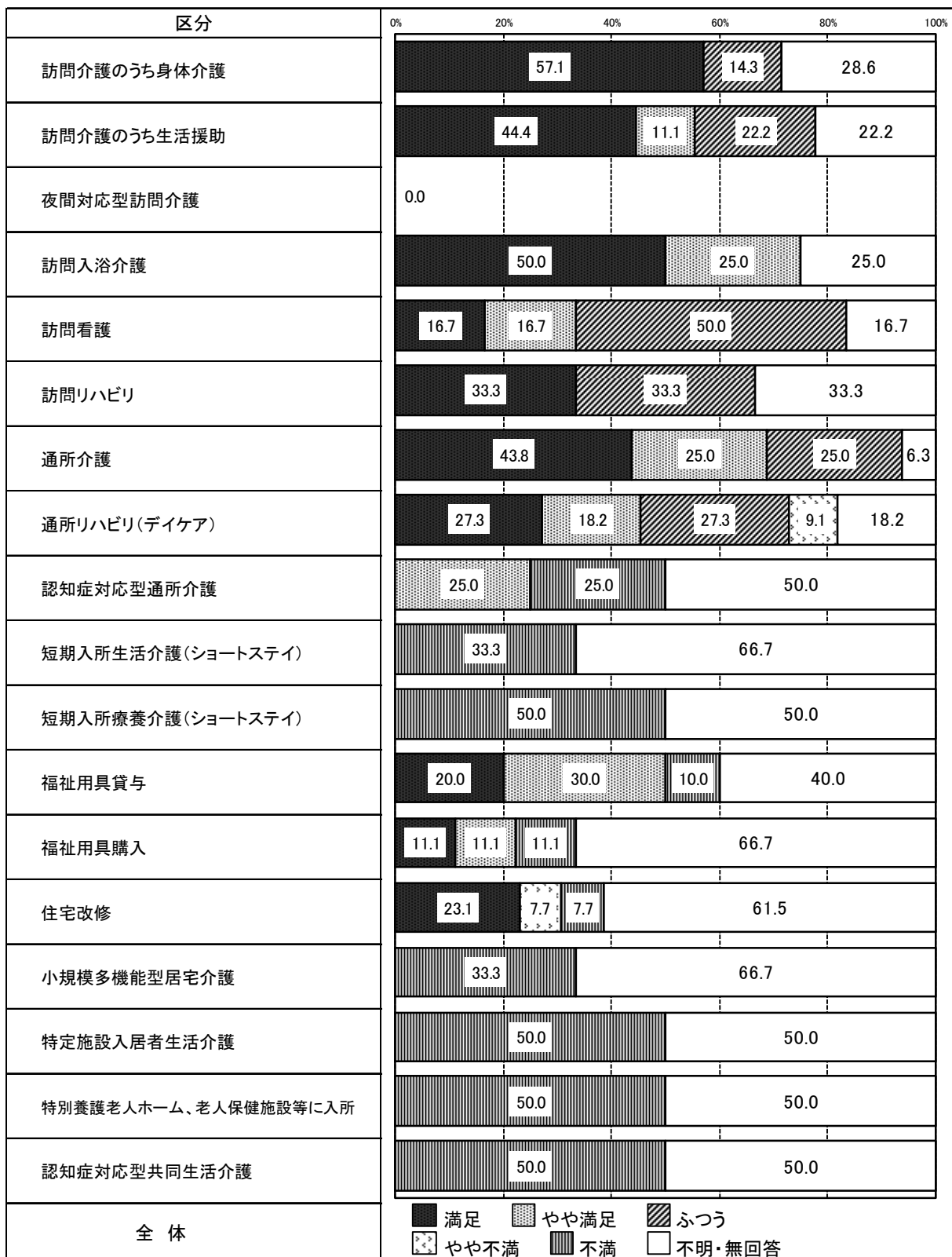
また、「不満」では、「特別養護老人ホーム、老人保健施設等に入所」「短期入所療養介護（ショートステイ）」が増加し、「短期入所生活介護（ショートステイ）」が減少しています。

	満足 （「満足」+「やや満足」）			不満 （「不満」+「やや不満」）		
	前回調査%(A)	今回調査%(B)	(B)-(A)	前回調査%(A)	今回調査%(B)	(B)-(A)
訪問介護のうち身体介護	58.8	63.4	4.6	3.9	4.9	1.0
訪問介護のうち生活援助	57.1	59.0	1.8	3.2	5.1	2.0
夜間対応型訪問介護	46.2	46.7	0.5	7.7	6.7	▲ 1.0
訪問入浴介護	68.0	64.0	▲ 4.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護	74.2	62.1	▲ 12.1	3.2	0.0	▲ 3.2
訪問リハビリ	67.7	62.1	▲ 5.7	3.2	3.4	0.2
通所介護	63.3	71.3	8.0	1.6	1.1	▲ 0.5
通所リハビリ(デイケア)	56.6	58.8	2.2	4.8	5.9	1.1
認知症対応型通所介護	41.7	60.0	18.3	8.3	10.0	1.7
短期入所生活介護(ショートステイ)	47.6	63.6	16.0	14.3	4.5	▲ 9.7
短期入所療養介護(ショートステイ)	40.0	50.0	10.0	13.3	25.0	11.7
福祉用具貸与	69.0	68.8	▲ 0.2	0.9	2.6	1.7
福祉用具購入	67.4	54.5	▲ 12.9	0.0	4.5	4.5
住宅改修	68.8	66.7	▲ 2.2	0.0	7.4	7.4
小規模多機能型居宅介護	50.0	40.0	▲ 10.0	12.5	20.0	7.5
特定施設入居者生活介護	50.0	62.5	12.5	7.1	12.5	5.4
特別養護老人ホーム、老人保健施設等に入所	61.5	57.1	▲ 4.4	0.0	14.3	14.3
認知症対応型共同生活介護	41.7	75.0	33.3	8.3	6.3	▲ 2.1



■「あて名のご本人」の満足度【要介護等認定者】

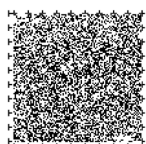
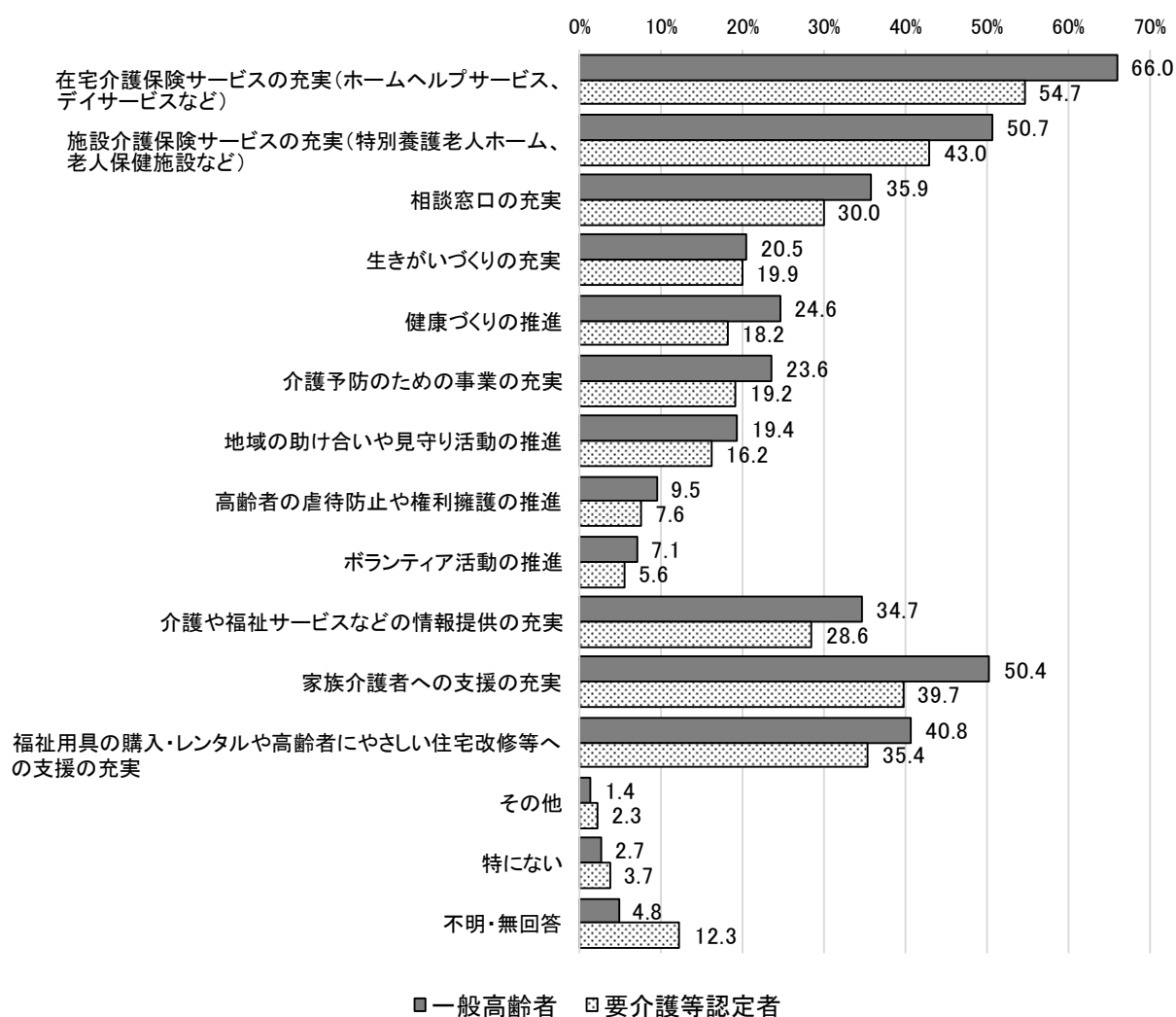
「訪問介護のうち身体介護」の満足度が57.1%で最も高く、次いで「訪問入浴介護」が50.0%、「訪問介護のうち生活援助」が44.4%となっています。





## (8) 今後市が力をいれるべき取組 【一般高齢者】 【要介護等認定者】

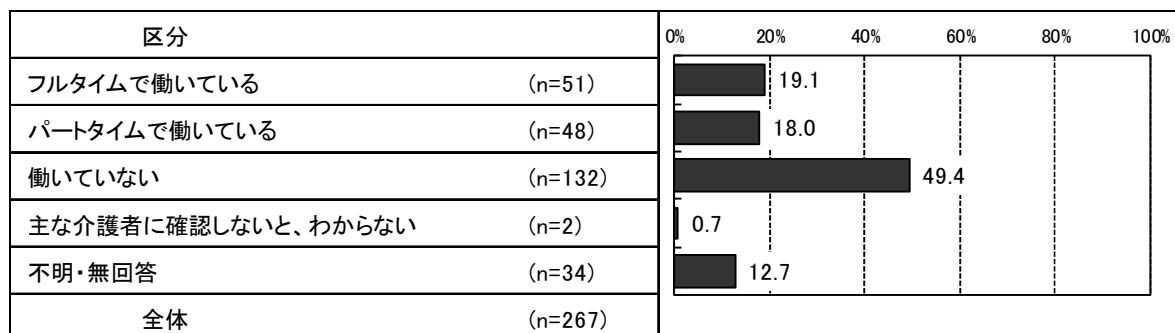
一般高齢者では「在宅介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス、デイサービスなど)」が66.0%(←66.8%)で最も多く、次いで「施設介護保険サービスの充実(特別養護老人ホーム、老人保健施設など)」が50.7%(←56.2%)、「家族介護者への支援の充実」が50.4%(←51.1%)となっています。要介護等認定者についても、「在宅介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス、デイサービスなど)」が54.7%(←59.5%(要支援)、53.7%(要介護))で最も多く、次いで「施設介護保険サービスの充実(特別養護老人ホーム、老人保健施設など)」が43.0%(←42.6%(要支援)、47.6%(要介護))、「家族介護者への支援の充実」が39.7%(←40.1%(要支援)、50.5%(要介護))となっています。



## (9) 主な介護者について (在宅介護実態調査) 【要介護認定者】

### ① 主な介護者の勤務形態

「働いていない」が49.4%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が19.1%、「パートタイムで働いている」が18.0%となっています。



### ② 主な介護者

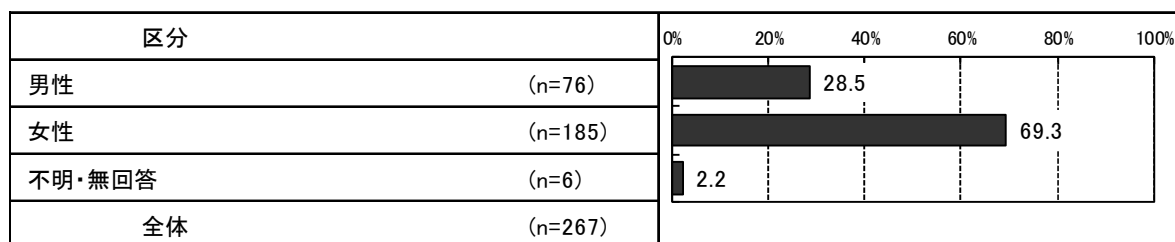
「子」が52.4%で最も多く、次いで「配偶者」が29.6%、「子の配偶者」が8.2%となっています。

(単位:人、%)

	合計	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	不明・無回答
全体	267	29.6	52.4	8.2	0.7	2.6	3.7	2.6
単身世帯	70	2.9	81.4	2.9	1.4	5.7	4.3	1.4
夫婦のみ世帯	69	71.0	21.7	0.0	0.0	0.0	4.3	2.9
その他	123	21.1	54.5	16.3	0.0	2.4	2.4	3.3

### ③ 主な介護者の性別

「女性」が69.3%、「男性」が28.5%となっています。



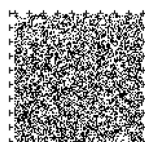
#### ④主な介護者が行っている介護等

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.4%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が68.9%、「食事の準備（調理等）」が67.4%となっています。

世帯構成別にみると、いずれの世帯も「その他の家事」が最も多くなっています。「食事の準備」に着目すると、単身世帯では、夫婦のみ世帯に比べて回答割合が低くなっています。

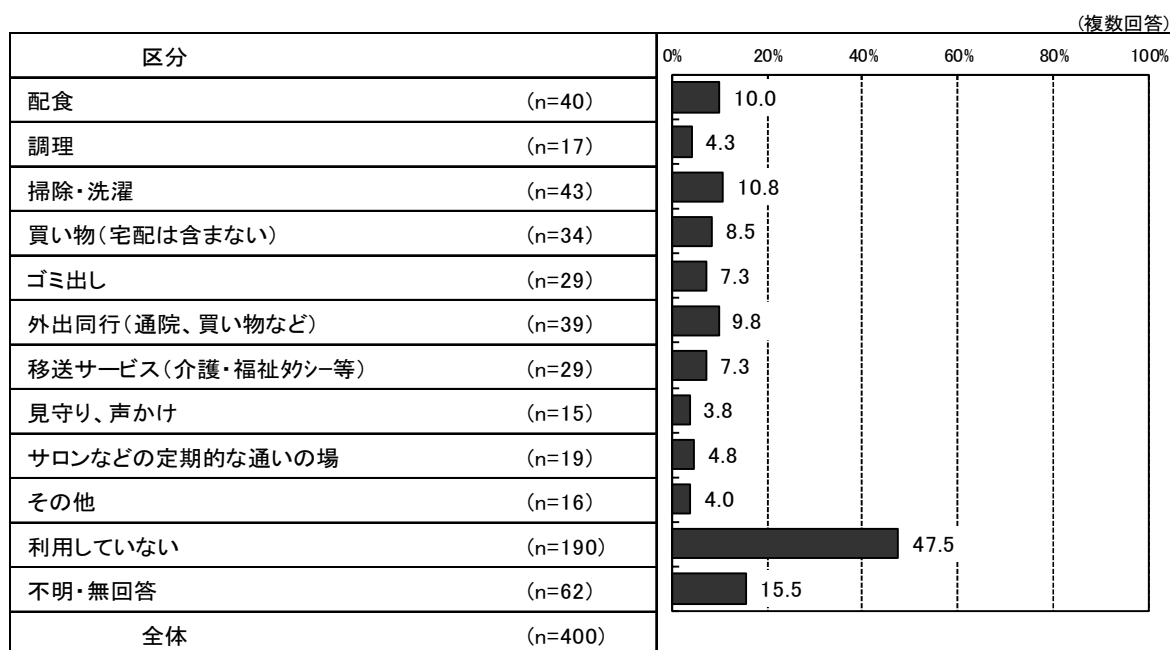
(単位:人、%)

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
全体	267	13.9	13.9	17.2	25.1	21.0	26.6	18.0	68.9	39.3	20.2	12.0	67.4	82.4	64.0	5.6	0.4	0.7
単身世帯	70	5.7	5.7	8.6	8.6	8.6	8.6	11.4	72.9	18.6	7.1	8.6	38.6	75.7	54.3	4.3	0.0	1.4
夫婦のみ世帯	69	5.8	13.0	17.4	34.8	26.1	36.2	14.5	69.6	42.0	27.5	11.6	75.4	81.2	69.6	11.6	0.0	1.4
その他	123	22.8	18.7	21.1	27.6	26.0	31.7	22.0	65.0	50.4	23.6	14.6	79.7	87.0	65.9	3.3	0.8	0.0



### ⑤現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

「利用していない」が47.5%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が10.8%、「配食」が10.0%となっています。



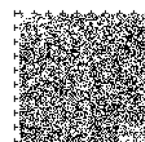
### ⑥現在の介護保険サービス利用有無

「利用している」が62.0%、「利用していない」が34.8%となっています。

要介護度別にみると、要支援1以外は「利用している」が「利用していない」を上回っています。

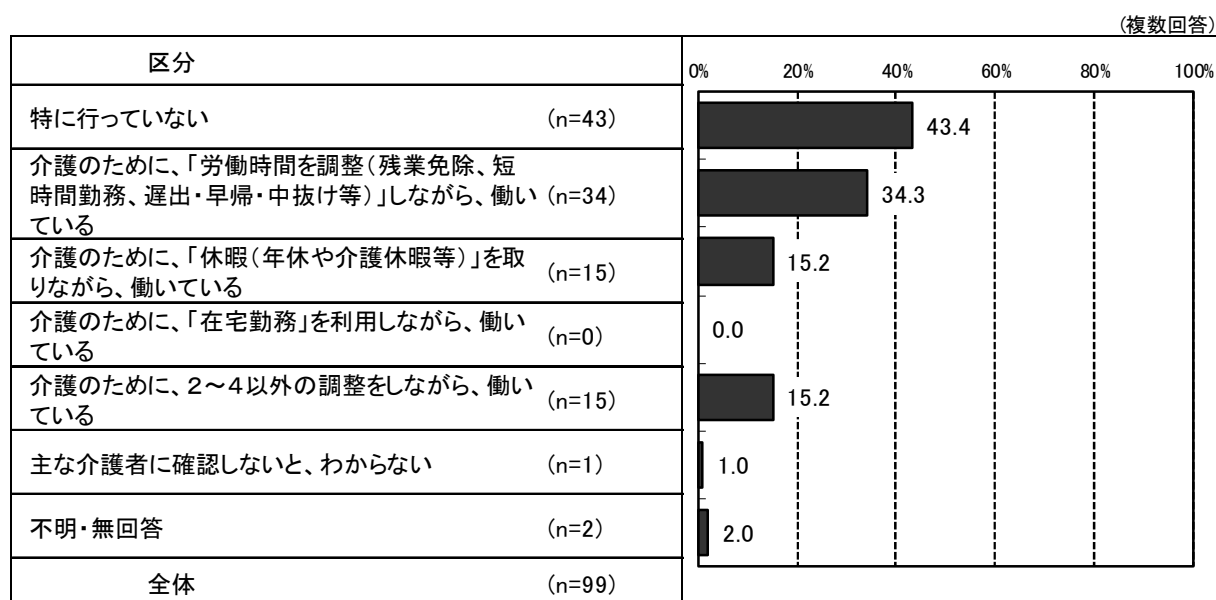
(単位:人、%)

	合計	利用している	利用していない	不明・無回答
全体	400	62.0	34.8	3.3
要支援1	113	44.2	50.4	5.3
要支援2	101	55.4	41.6	3.0
要介護1	65	78.5	20.0	1.5
要介護2	60	71.7	28.3	0.0
要介護3	31	74.2	16.1	9.7
要介護4	19	73.7	26.3	0.0
要介護5	11	100.0	0.0	0.0



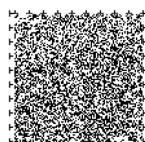
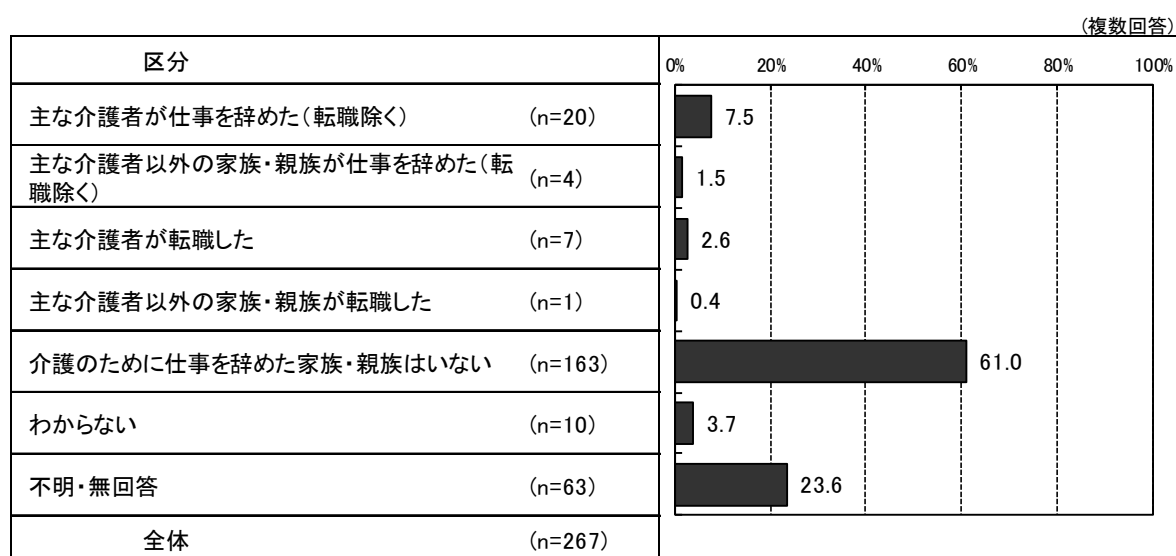
### ⑦介護者の働き方の調整の有無

「特に行っていない」が43.4%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が34.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」と「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が、ともに15.2%となっています。



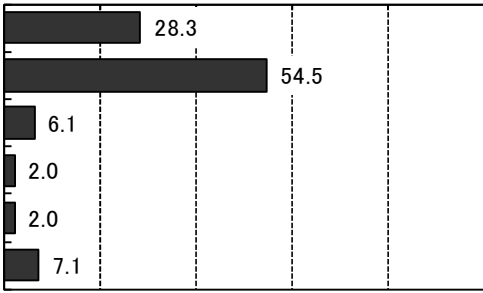
### ⑧介護を理由とした辞職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.0%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.5%、「わからない」が3.7%となっています。



⑨ 仕事と介護の両立の継続について（働いている方）

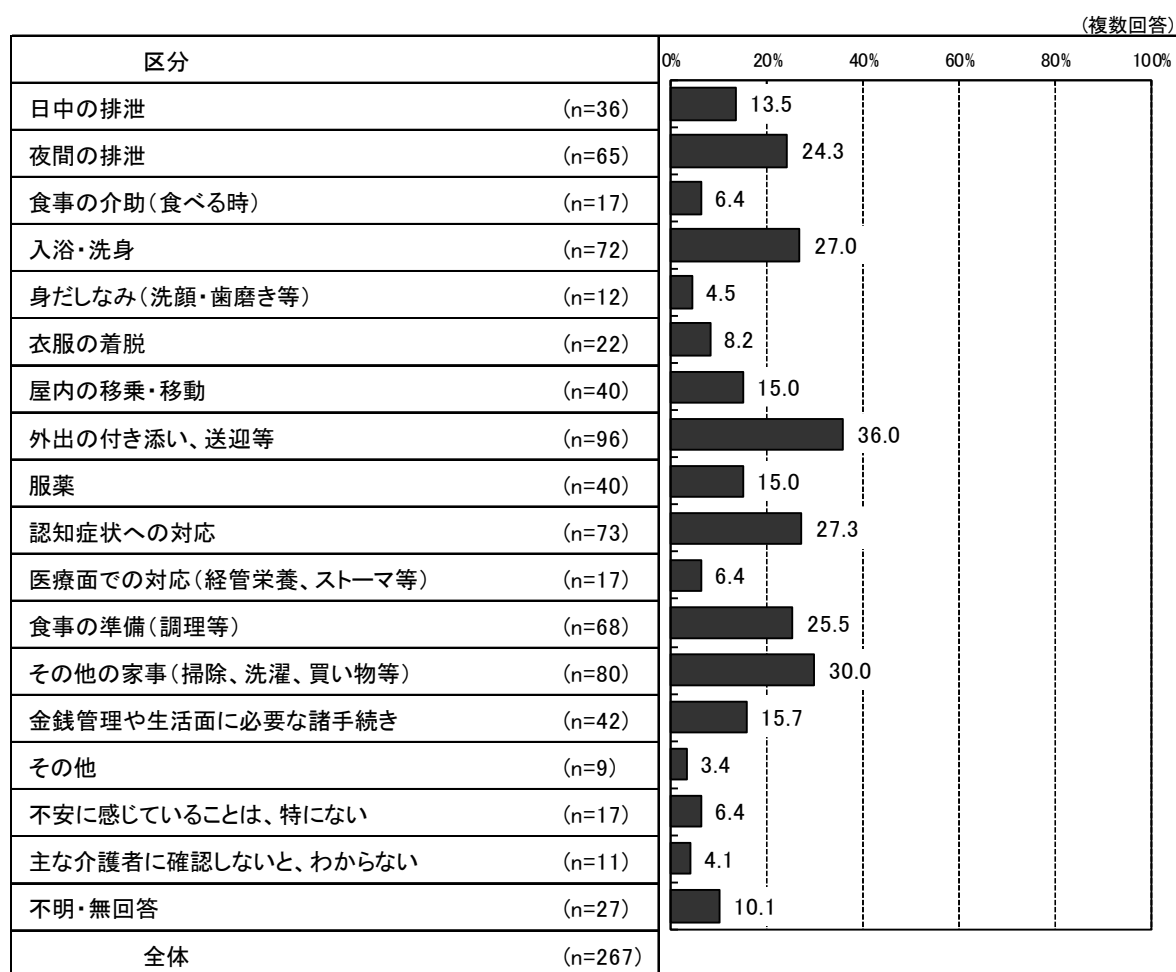
「問題はあるが、何とか続けていける」が54.5%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が28.3%、「続けていくのは、やや難しい」が6.1%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
問題なく、続けていける	(n=28)						
問題はあるが、何とか続けていける	(n=54)	54.5					
続けていくのは、やや難しい	(n=6)	6.1					
続けていくのは、かなり難しい	(n=2)	2.0					
主な介護者に確認しないと、わからない	(n=2)	2.0					
不明・無回答	(n=7)	7.1					
全体	(n=99)						



### ⑩在宅生活を継続するために必要な支援

「外出の付き添い、送迎等」が36.0%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が30.0%、「認知症状への対応」が27.3%となっています。



### ■介護度別

(単位:人、%)

	合計	外出の付き添い、送迎等	認知症状への対応	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
全体	267	36.0	27.3	30.0
要支援1	54	37.0	11.1	44.4
要支援2	65	36.9	10.8	38.5
要介護1	50	40.0	62.0	24.0
要介護2	46	37.0	34.8	21.7
要介護3	25	12.0	24.0	16.0
要介護4	18	44.4	33.3	16.7
要介護5	9	44.4	11.1	22.2

